

白亜の殿堂 セレブタリティ文学園物語
シーズン1 ヤカラの品格

第一部 セレブタリティ

学校の校庭で演劇の練習
バリケードの上に立つて叫ぶ演劇部員

紅葉

竜騎兵どもよ、良く聞け。たとえ最後の一人になろうとも、我等アベセーの友は、国家の自由と平等と博愛を守るため、この地を一步も退きはしないぞ。

スミレ

アンジヨルラス。僕もここに残るよ。

紅葉

おお、同志グランテール。君は死を恐れないのか。

スミレ

恐れるものか。

紅葉

頼もしき我が友。一緒に歌おう。

二人 (赤い旗を振りながら歌う)

戦う者の歌が聞こえるか

鼓動があのドラムと響き合えば

新たに熱い命が始まる

明日が来た時そうさ明日が

〔レ・ミゼラブル 民衆の歌〕

バリケードの外の竜騎兵

中原

ふん、ブルジョワ学生の青二才でもめ。プロレタリアの真似ごとなんぞしゃがつて。てめえらに何が分かる。これ以上のさばつてると、蜘蛛の子ようしく蹴散らしてくれるわ。

バリケードから銃弾が飛んでくる

中原

もう我慢ができねえ。今から突入するぞ。突入します。

智子

お待ち下さい中原隊長。ただいま伝達兵がルイ・フィリップ国王へ突撃許可書を届けに行きますので。

早く行かせろ。騎手は誰だ。

中原

マルセイユ一番のサラブレッド騎手アローズ少佐です。

智子

アローズ少佐のどこがマルセイユ一番の騎手なんだ。
もつとましな奴はいないのか。アイフォーン中佐はどうした。

前線で暴動を抑えてます。

中原

そいつと変われ。騎手交換をしろ。騎手交換を。
わかりました。騎手交換ですね。

智子

中原
智子

そうだ。騎手交換だ。

つまりアローズとアイフォーンの騎手交換をすればいいわけですね。

ぐどいよ。さっさとやれ。

(部下に向って) おい、アローズじゃダメだ。アイフォーンと変われ。

ちょっと待て。誤解が無いように断つておくが、俺は何もアローズが劣っていると言つてる訳ではないぞ。十年以上俺の仕事の相棒として頑張ってくれたんだ。多少動作の鈍い部分もあるが、パネル操作の滑らかさや、スタイリッシュなフォルム等、気にいつてはいたんだ。

中原
智子

隊長。いつたい何に対するエクスキューズなんですか。

なんでもいい早く伝令を出せ。

もうアイフォーンが向っています。そろそろベルサ

中原
智子

イコ宮殿に着く頃です。あつ、宮殿から旗を振るのが見えます。突撃命令です。中原隊長。突撃命令の合図です。

中原 国王の命令だ。皆の者。突撃だ。突入しまーす。

竜騎兵ラッパの音と共にバリケードに突入。バリケード上のアンジヨルラス、グランテール等の学生デモと激しい白兵戦を繰り広げる。

智子先生 はいはいそこまで、みんな！」苦労さん。本番まであと少しよ。この調子で頑張っていきましょう。

中原理事長（汗を拭う）

智子 中原理事長。「協力ありがとうございます。

中原 いや…なんのなんの。部員が足りないとの事。私で良ければどんな役でも引き受けますよ。こう見えても若い頃は新鋭劇団で活動していたからね。

智子

台詞の一つ一つに重みがありましたわ。

中原

昔に戻った気分だよ。私はこれから、仕事が残つてるので、お先に職員室に戻らせてもらひつよ。

演劇部員

中原先生ありがとうございました。

中原退場

紅葉

酷かつたわね。

スミレ

何が新鋭劇団よ。まるつきし棒読みだわ。

智子

あなた達、そんな事言わないの。中原理事長は世界史の先生をしながらこの学園の理事長も兼ねているお忙しい身でありながら引き受けたださつたのよ。

スミレ

でも智子先生。あんなヘッポコ演技じゃ学園祭のレ・ミゼラブルが台無しだわ。本番までにもつとまともな芝居ができる人を見つけないと。

智子

そうよね。あれじや、文字通りレ・ミゼラブル…

つまり惨めな芝居になっちゃうわね。

紅葉

学園祭までに桜部長が戻ってきてくればいいんだけど。アンジョルラス役も、私じゃなくて桜部長が演じるべきだわ。

智子

あら、ミス紅葉。あなたの演じるアンジョルラスも、さまになつてたわよ。

紅葉

お褒めいただき光栄ですが、智子先生。桜部長は演劇の神から授けられた才能の持ち主です。私など到底かないません。

智子

努力に勝る才能なんてないわよ。ミス紅葉。本番はあなたがリーダーとなつて演劇部を牽引していかなくちゃ。それこそ革命家の青年リーダーアンジョルラスのように。ミスミレのグランテール役も良かつたわよ。学園祭まで、このメンバーで頑張りましょ。お二人ともよろしくって。

二人
はい。智子先生。

智子

それにしても、ミス桜はどうしたのかしり。文化祭でレ・ミゼラブルを演じるのを楽しみにしていたのに。

スミレ

先生。ミス桜は、もう学校には戻ってこないんじゃないかしり。

智子

あら、どうしてそんな事言うの。ミススミレ。

スミレ

だって、ねえ。(紅葉と顔を見合わせる)

智子

何だか一人ともへんよ。ミス桜について何か知つていてるなら、教えてちょうだい。

紅葉

あの、実はミス桜のお家は事業が上手くいかなくて、破産寸前らしいんです。

智子

そうなの。それでの子、思い悩んで学校に来なくなつたのかしら。かわいそうに。

スミレ

先生、あまりミス桜に関わらない方がいいわ。

智子

なぜ。

紅葉

先生知らないの。ミス桜のお家は、表向きは映像

製作会社つてなつてゐるけど、本当はヤクザのフロン

ト企業だつて

智子 噂よ。

そんな話初めて聞いたわ。でもあなた達、あまり友達の陰口を言わない方がいいわ。ミス桜に失礼よ。

二人 智子 はい、先生わかりました。

すっかり暗くなっちゃったわね。

ミスマランコリーがでると怖いわ。

ミスマランコリー?なんなのそれ。

スミレ

学校中で噂になつてるんです。暗くなつた校内を

青いドレスを着た赤毛の女の子の幽霊が歩き回るつて、誰かを探し回つてる様に憂いに満ちた表情で、とても悲しげに見えるの。

私達、彼女にミスマランコリーって名前をつけてあげたの。

素敵な名前ね。きっとその幽霊も、喜んでくれるわ。でも、幽霊がでたら、不用意に近づいたらダメよ。

智子

紅葉

『氣をつけて帰りなさい、いいわね。』
「おげんよう。智子先生。さようなり。

二人

一人退場

智子 もうこんな時間だわ。尚史さんきっと夕飯食べずに待ってるわ。

木の陰にミス桜がいる。

智子 そこにいるのは誰。あ、ミス桜ね。そこで何して
るの。ちょっとお待ちになつてミス桜。

桜逃げるよつて立ち去る。

智子 何か悲しげな顔でこつちを見てたわ。父親の事業

が上手くいってないとか言ってたわね。きっと学校に来たくても来れないんだわ。可哀想なミス桜。何とか力になれないかしら。

暗転

ナレーション

関西屈指の高級住宅街、北阪神鈴姫台。豊かな自然と瀟洒な屋敷に囲まれた鈴姫台の丘の上に、まるで住宅街を見晴らすかの「¹」とく燐然とそびえ立つ白亜の殿堂。鈴姫台セレブタリティ女学園。この物語では一九八七年まで実在した格式と伝統を重んじる当学園について当時の資料を元にできるだけ詳細に書き記す事にした。なお、本日御覧いただいた皆様方が鈴姫台セレブタリティ女学園について、インター ネット及びその他あらゆる情報媒体を駆使してその

存在を白日の元に曝そうとしても、徒労に帰すであろう事を予め¹⁾忠告申し上げよう。なぜなら、鈴姫台セレブタリティ女学園、そこは神秘のベールに包まれし白亜の殿堂。到底私達一般人にはうかがい知る事など出来ない秘密の花園なのだから。

尚史[ひさし]と智子の家

尚史

(自分宛ての数枚の手紙を読む)誠に残念では¹⁾ざいますが、今回は¹⁾希望に沿いかねる結果となりました。(溜息をつく。次の手紙を読む)応募書類を元に慎重に専攻した結果…誠に残念では¹⁾ざいますが、今回は¹⁾希望に添えない結果となりました。(次の手紙を読む)選考内容を踏まえ、慎重に考慮いたしましたが、…今回は¹⁾期待に添いかねる結果となりました。(手紙をクシャクシャに丸めて部屋の片隅

(棚の上に置く)

智子

尚史

ただいま。尚史さん遅くなつてごめんなさい。
おかえりなさい。智子さん、いつも演劇部の指導
で大変だね。疲れただろう。

智子

ええ、とっても。学園祭まであと少しだから部員も私も頑張らなくっちゃ。

四

無理しそう無いようにな。ほら、夕飯が出来てるよ。私、もうお腹ペコペコよ。手を洗ってくわ。

智子の背後に青いドレスを着た赤毛の女の子の幽霊が歩

<

智子

(気配に気づき振り向く、誰もいない) 尚史さん今私の後ろにいた。

尚史

変ね。さつき確かに後ろを誰かが通ったような気が

するんだけど。（棚の上に丸めた封筒が数枚あるのに気付く。拡げて読んでみる）

きっと疲れてるんだよ。さ、『』飯を食べよう。

そうね、すぐ行くわ。（封筒を元の場所に戻して食卓へ行く）といひで尚史さん。新しい就職先は見つかった。

尚史

うん。何校か、ウチの学校に来てほしいって依頼の手紙は届いてるんだ。美術教師の人員は、どこの高校も不足しているからね。でも、まあ慎重を期す

ため、もう少し考えてからにするよ。

尚史さんの納得するようにすればいいわ。

すまないね。智子さん。結婚を間近に控えて物入りな時に、僕が無職になってしまって。

尚史さんのせいじゃないわ。突然今年から美術の授業を取りやめたこの学校のせいよ。本来なら次の赴任先まで面倒を見るべきだわ。

尚史

智子

尚史

智子

尚史

智子

尚史

まあ、美術は受験とは無縁だからね。本当は生きていく上で、とても大切なことを学べる教科なんだけど、植池校長の判断ならしかたがない。

私がから植池校長に抗議するわ。

いや、いいんだ。これは僕の問題だから、僕が何とかするよ。

智子 尚史

尚史さんがそう言つなら。私は黙つているわね。でも何か手助けできる事があつたらいつでも言つてね。ありがとう。今でも充分助けてもらつてるよ。

智子 尚史

智子さんは、学園祭の演劇は、もう仕上がりってるの。それがね、困つてるのよ。主役のミス桜が学校に来なくなつちやつて、他の子に主役をやってもらつてるんだけど、なかなかミス桜のようにアンジョールラスの役を演じきれないのよ。

智子 尚史

あら、尚史さん。ミス桜の事を知つてるの。
桜君か、そういうえば近頃見ていないな。

尚史

だ。

智子

そうなんだ。そんな事をしてるとは知らなかつたけど、優しい子なのね。今度またミス桜が水やりに

尚史

現れたら、私に知らせてちょうだい。
分かつたよ、でもいったいなんで桜君は、学校を休んでるんだい。

智子

今日生徒に聞いたんだけど、お家の事業が上手くいくてないらしいの。その事と関係があるのかも知れないわ。それと、帰り道でミス桜を見かけたのよ。木の陰からこっちをじっと見てたわ。私、声をかけたんだけど、逃げる様に立ち去つて行つたの。

尚史

本当は学校に来たいのかもしれないね。もし、経済的理由で学校に来れないんだつたら、中原理事長に相談すれば、確かに特別支援制度があつたはず。審査に受かれば授業料は免除されるはずだよ。

智子

ありがとう。明日学校に行つたら聞いてみるわ。尚

史さんは明日はアルバイトなの。

尚史 うん。芦屋の美術サロンで講師をしてる。報酬は低いけど、オーナーから、個展を開かせてやるって言われてるんだ。

智子 嘘、凄いじゃない尚史さん。画家になる夢がかなうのね。

尚史 大げさだよ智子さん。まだ決まった訳じゃないし。決まつたら言ってね。私、尚史さんの才能を信じてるから。

暗転

理事長室

智子 榎本です。失礼します。
中原理事長 入りたまえ。

中原理事長と植池校長が向かい合って話をしている。隅つ
このデスクで眼鏡をかけた女秘書森田が物言わずに座つ
て帳簿をついている。部屋の中は、鎧兜や、水墨画、西
洋騎士の甲冑など、趣味の悪い骨董品が飾られている。
しかも、和洋折衷統一性がない。

智子 あ、植池校長。いらしたんですか。何かお話し中で
したら、また時間をおいてから伺いましょうか。

植池 いや、いいさ智子ちゃん。直ぐに済むから。

中原 芋作君。智子ちゃんなんて呼び方はやめろ。榎本先
生と呼びなさい。

いちいちウザいんだよお前は。智子ちんでいいじゃ
ないか。なあ、智子ちゃん。

ええ、私はどっちでも構いませんが。

だめた。ここは学校なんだからね。親しき仲にも礼

智子 中原

儀ありつて言うだろ。それに、昨今話題のセクシャ
ルハラスメントにも触れるしね。

植池 セクシャルバイオレットって何だ。そんな言葉聞いた事もないぞ。

中原 たまには新聞でも読んだらどうだね。芋作君は校長先生なんだから。

お前もたまには漫画でも読んで、現代の若者の気持ちというものを、少しは理解すればいいんだよ。それに従兄弟とはいえ仮にも俺は本学園の校長だぞ。礼儀云々というのならお前こそ俺の事を子供の頃のように芋作と呼ばないでもらいたいね。

智子
お二人とも喧嘩なさらないで下さい。校長先生。や
クシャルハラスメントっていうのは、異性に対して
性差別的な事を言ったり、したりする事よ。

性差別的な事を言つたり、したりする事よ
アメリカでは既に裁判になつてゐる。

中原植池 アメリカでは既に裁判になっている。わかったよ。いちいちうるせえな。今後は気をつけ

るよ。

森田がお茶を運んでくる。

植池

鉄子ちゃんありがとう。相変わらずいいケツしてるね。旦那と別れて今は独身なんだってね。僕とつきあつてよ。

(何も言わず無表情で退出)

それを辞めろって言つてるんだよ芋作君。森田さんは、東神銀行から出向していただいてる監査役だよ。失礼だろ。

冗談だよ。冗談。

植池 智子

校長先生。理事長との話し合いはもう終わつたんですか。

植池

おお、そうだ。実はねえ、とつておきの商売のアイデアを思いついたんだよ。

智子

植池
中原

またですか。（やれやれといった表情をする）
今度こそ成功間違いなしさ。自信があるんだ。
いつもそう言つてるじゃないか。この間の黒豆入り
のミルクティー屋も全く話題にもならず、どれだけ
の損失が出たと思ってるんだ。

黒豆じゃない。タピオカミルクティーだ。絶対に流
行ると思ったんだけど、時代が俺についていな
かつたんだ。後三十年後には流行る気がするんだ。
どうせだったら今流行る物を考えてくれないかな。
ともかく、そのタピオカミルクティー屋の損失のせ
いで今年の修学旅行はハワイを取り止めて、城崎温
泉日帰り蟹食べ放題ツアーに変更せざるをえなかつ
たんだからね。

え、そうだったんですか。
生徒には黙つていてくれたまえ。
わ：わかりました。

中原

植池

智子
中原
智子

植池

商売に失敗はつきものさ。でも、お一人さん。これを見給え。（懐からカマボコ板のような金属製の物体を取り出してデスクの上に置く）こいつは絶対に大流行間違いなしだ。いや…時代を変えると言つても過言ではない。

何だよ。そのハンペんみたいな物は。

これは次世代型の携帯電話だ。須磨離宮ホテルでシリアル系アメリカ人のバックパッカーから買ったんだ。名前は確かスティーブドボチヨンズって言つてたな。携帯電話なんてそんなものは、エリート気取りの成金社長か、ヤクザか、芸能人くらいしか持つてないぞ。僕達一般人には縁のないものだ。芋作君が知り合いの不動産屋から買ったのも、全然電波が繋がらないって言つてほとんど使ってないじゃないか。（机の下から、アタッシュケース型の大きな携帯電話を取り出してみせる）

中原 植池

植池

いや、これから時代は、一人一台必ず持つようになる。断言してもいい。それにこの携帯電話が、既存の物と異なるのは、パソコン 컴퓨터を内蔵している点だ。

パソコン 컴퓨터ですって。

そんな馬鹿な。こんな小さな携帯電話の中に、どうやつてパソコン 컴퓨터を入れてあるんだ。だいいちキー ボードが無いじゃないか。

これだからお前は頭が固いって言われるんだ。何もパソコン コンピューターを丸」と入れてる訳じゃない。パソコン：面倒なんでパソコンと略すことにするが、パソコンの機能を、この電話に搭載してるんだ。

植池

中原 智子

中原 植池 智子

電子手帳のようなのですか。

さすがは智子ちゃん。呑み込みが早い。

芋作君の言いたい事は分かったが、そのおもちゃみ

植池

中原

たいな携帯電話でいつたい何ができるんだ。

こいつがあれば何でもできる。世界中の情報に瞬時にアクセスできるし、行政サービスや病院の予約、家に居ながら洋服も買える。映画やドラマも見放題。それに極めつけは、これを使えば、世界中の人々に、情報を発信する事ができるんだ。

芋作君いいかい。行政サービスは役所に行つて受ければいいし、洋服も店で買うよ。映画は映画館で皆んな観るよ。未来永劫ずっと皆そうするよ。極めつけの情報発信者になれるっていうのも、いつたい誰がなりたがるんだ。そんな自己顕示欲の強い陰キャな奴は、舞台やドラマの脚本でも書いて雑誌に投稿すればいいんだ。

おっ、お前にしてはいいアイデアだな。脚本やシリオを投稿して、皆に読んでもらつてランキングを表示したり、プロデューサーや演出家に投稿作品を

買つてもいつサイトを立ち上げれば、きっと上手くいくや。

智子

ちょっと興味が湧いてきたわ。その機械があれば本も読めるのかしら。

植池

もちろんこいつがあれば本も読めるんだ。もう重たい書籍を鞄に入れておく必要はない。これ1個で一万冊以上の本を空いてる時間に自由に読むことができる。空いてる時間に本が読めちゃう。そうだ、こいつの商品名をアイテルホンと名付けよう。

いっそのこと、略してアイホンにしちゃええば。

いや、アイテルホンの方がしつくりくる。

芋作君。僕は忙しいんだ。言いたいことはそれで全てかい。だったらもう帰ってくれませんか。

いや、まだある。大切な事だ。
だったら先に言つてよ。つまらない事ばかり言つてないで。

植池
中原

植池

まあ、そうカリカリするなって。じつはね。やる事に決めたよ。学習塾の件。

智子

学習塾ですって。

中原

芋作君。まだそんな夢物語を描いてるんですか。学校が学習塾を経営するなんてありえないよ。

植池

いや、これから時代はありえるね。なぜなら今後この国は人口が急激に減っていく。子供の数が減れば、この学園もいざれ定員割れを起こして学園が立ち行かなくなる。

中原

そんな馬鹿な事があつてたまるか。毎年この学園にくる入学希望者は、定員の三倍だぞ。ここ数年でどんどん増え続けていい。芋作君。いい加減現実をみろよ。

植池

現実を見なきゃならないのは、お前のほうだ。中原、俺はもう手を打つてあるのだ。客人はいましたまえ。

小肥りの男が入つてくる。

失礼いたしやす。

中原 男
掛川 誰かと思ったら、東神銀行の掛川課長。いつもお世話になつてます。

いえいえ、とんでもない。こちらこそ。ウチの監査役の森田が世話になつてます。（片隅のデスクで書類仕事を黙々とこなしている森田に目を向ける）今日ははどういうな」用件で参られたのですか。

この度、鈴姫台セレブタリティ女学園様が三宮に学習塾をお開きになるとの事、是非とも弊行で「融資させていただきたく相談に参りました。

その件でしたら結構です。校長が勝手に言つてるだけですから。

おい、失礼じゃないか。せっかく来ていただいたの

中原
掛川
中原
中原
植池

に。

芋作君が勝手に呼んだんだろう。僕は学習塾を開く事を許可した覚えはない

校長の俺が決めたんだ。

最終決定権は理事長の僕にある。

あの、校長と理事長ってどちらが偉いんですか。

俺だ。

僕だ。

あの、私はどうすれば良いのでしょうか。

すみませんがお引き取り願えませんか。

いや、残つていてくれ。中原、お前がいくら反対しようとも、もうプロジェクトは動きだしているんだ。

これを見ろ。(リモコンのスイッチを入れる)

壁一面の大型スクreenに、CM映像が流れ出す。

中原 智子 植池 植池
掛川

神戸三宮に、新たな学習塾が誕生。セレブタリティゼミナール！最新式のパーソナルコンピューターを駆使した画期的な教育プログラムで、あなたの未来を全力サポート。全国から実力のある有名講師が一同に集結。セレブタリティゼミナール！入塾受付は九月一日から。セレブタリティゼミナール！今、君の未来が開かれる。

（リモコンのスイッチを切る）

これ、なんなんですか。

テレビCMだよ。サンサンテレビの昼三時から毎日一回流れるんだ。だから今更塾を取り止める事なんて出来ない。もうプロジェクトは動きだしてるんだ。ไซは投げられた。ってやつさ。

誰がこんな取り返しのつかない事をやったんだ。
私です。融資先にCM制作会社がいてね。急遽作っ

てもうつたんですよ。

馬鹿。なんて事をしてかしたんだ。

理事長、落ち着いて下さい。

中原 植池 智子

いつたいどうするんだ。私は知りんぞ。塾経営なんて素人が手を出すもんじやない。今からでも遅くない。サンサンテレビに電話して、CMを差し止めよう。

植池

無駄だ中原。既にCMは流れている。入塾希望者からの問い合わせもたくさん受けている。

いつたい、いくらかかるんだ。塾を開くのに。

見積もりでは4億8千万円です。

中原 植池 掛川 中原

4億8千万円だぞ芋作君。失敗したらどうするんだ。
失敗なんてありえないよ。全国から有名講師を揃え
たんだぜ。お前は心配症だな。それに、俺だって
真面目にこの件に取り組んでいるんだ。昔と違って

ホステス通いもきっぱり辞めた。

中原 銀行は本当に4億8千万も融資するのか。この学園に。

もちろんです。査定には、融資責任者の西井専務も立ち会ってもらいました。

：

中原 智子 理事長、こうなつたら後には引けません。校長を信じて塾経営に突き進みましょう。

中原 植池 仕方がない。

中原 植池 そうこなくつちや。

掛川 早速西井専務に連絡を入れます。

西井 掛川 これを使いなさい。（次世代型携帯電話を渡す）西井専務には先月ゴルフに行つた時に試作品の初号機を渡してある。

西井 掛川 もしもし。西井専務ですか。
何のようだね。

掛川

西井

掛川

西井

セレブタリティ文学園の融資の件ですが、確認のために電話させていただきました。

(小声で)あの、世間知らずのボンクラ従兄弟が経営しているお嬢様学校の事か、それについては、ちょっとまずい事になつてね。

どういうことですか、99%大丈夫だつて言つてたじゃないですか。

それが、融資審査で、塾経営に甘さがあるつて待つたがかかるつたんだ。どうもミスアイロニーが関わつているらしい。

ミスアイロニーが、無情の冷徹審査員、東神銀行の影の実力者、その姿を見た者は誰もいないと言う謎の女。

ともかく、俺も激甘融資の西井の異名を持つ男。何とかこの融資を通してみせる。植池校長はそこにはるのか。

西井

掛川

西井

はい、おりますが。

ちょっと代わってくれ。

(電話を植池校長に渡す)

これはこれは、西井専務。『無沙汰しております。

(受話器片手にペコペコお辞儀をする)

いえいえこちうじん。相変わらずお盛んそういうやないの、植池さん。新開地のナンシーちゃんといい仲なんだって、バーキン買ってあげたそうじゃない。ナンシーちゃん喜んでたよ。

いや、あの、それは…

(蔑むような目で植池を睨みつける)

そんな事より西井専務。塾開設の4億円融資の件その後問題ありませんでしょうか。

も、勿論ですよ。99%確実ですよ。

それなら安心だ。やはり激甘融資の西井専務にお任せして良かったですよ。

植池 西井

智子

西井

植池

西井

植池

なぜ100%確実って言わないんだろう。
大船にのつたつもりで安心してください。：…ところで植池校長。この間ゴルフの時にいだいたーのアitelホン、もう一つもらえないかな。凄く便利だ。気に入つていただけて光栄ですが、あいにく試作品が一つしか残つてないんですよ。

10万円出すよ。その試作品でいいんで売つてもらえないかな。

10万円ですか喜んで。お持ちいたします。

それじゃあ今夜、いつもの時間に新開地のアルサ口で。ナンシーちゃん予約入れとくよ。

電話が切れる

植池

というわけで、融資の方は問題ない。これで納得しちゃう。

中原 植池 相変わらず新開地のアルサ口には行つてるようだね。それはだな、接待というやつだよ。お前みたいに綺麗事ばかりでは学校経営は成り立たんよ。と言う訳で、俺はこれから新開地に接待に行つてくる。掛川さん行こう。(植池と掛川が退室しようとする)

植池校長。

どうしました。森田さん。

そのアイテルホンっていう新型携帯電話、私にも売つてもらえませんか。

この電話をかい。しかし残り一つしかない、しかも試作品だ。それををさつき君の上司の西井専務が10万円で買うと言つてきたのだよ。申し訳ないが売り切れだ。

二十万円だすわ。

に…二十万円だと。

森田さん、こんなおもちゃに二十万円とは、僕はお

勧め出来ません。

森田

西井専務には私から話をつけます。校長先生に「迷惑はおかげしません。(ハンドバッグから札束を取り出し、デスクの上に置く)

おい、森田君。(手)は出向先だぞ。慎み給え。

掛川

掛川さんには関係ありません。黙つていて下さい。

森田

分かった。森田さんがそんなに欲しいんなら売つてあげよう。西井専務には新しいのがもうすぐ手に入るからそれまで待つてもらいつのように、私から言つておくよ。

ありがとうございます(また、何もなかつたかのよう)

うにデスクで書類整理をする)

森田

植池と掛川退場。中原と智子畠然とするが、中原が何かを思い出して智子に尋ねる。

植池と掛川退場。中原と智子畠然とするが、中原が何かを思い出して智子に尋ねる。

中原 時に榎本先生、何か用事があつて私に会いに来たのではないですか。

智子 あ、はい。実は理事長、ミス桜の事なんですがここ一週間程学校を休んでまして、保護者の方とも連絡がつかないんです。

中原 それは心配ですね。

智子 生徒達の話によれば、お父様の事業が最近上手くいってなくて、それを気に病んで学校に来ないんじゃないかと噂しております。

中原 資料によると、ミス桜の「実家は映像制作会社」とありますね。

智子 ええ、表向きは普通の映像制作会社ですが…。

中原 表向きとは?

智子 いえ、何でもありません。

中原 (資料を見ながら)両親は離婚していて、父親の元で暮らしている…か、

智子

あの、理事長。ミス桜に授業料の特別免除申請を申してたいのですが。

中原

分かりました。早急に処理しましょう。ミス桜に授業料の事は心配せずに今までどおり学校へ来るよう榎本先生から伝えてください。

智子

ありがとうございます。ミス桜、きっと喜ぶわ。失礼いたします。

智子退室

暗転

校庭にある花壇

智子

(歩きながら)塾経営なんて上手くいくのかしり。まあ私が心配したって仕方がないんだけど。あ、あそ

（花に水をやっているのは尚史さんだわ。

（花に水をやっている）

尚史先生。

智子 尚史

ミス桜だわ。いったいどうしたのかしり。（物陰に隠れる）

桜君か、こんにちわ。

こんにちわ尚史先生。水やり手伝うわ。

ありがとう桜さん。ただ僕はもう先生じゃないよ。

美術のクラスは今年からなくなつたんだ。

じゃあ、尚史先生は今何をしているの。

ご覽の通りお花の水やり係さ。でもそれだけじゃ生活が出来ないから芦屋の美術サロンで講師をしている。今そこのオーナーが、僕の個展を開く計画を立ててくれてるんだ。

先生凄いじゃん。先生の描く絵素敵だから、個展を開けば大人気になると思うわ。私見に行くわね。

桜

尚史 桜 尚史

尚史 桜 尚史

ありがとう桜君。

(ジョウロで花に水を撒く)

あの、桜君。ずっと学校を休んでいるんだってね。

(無言で水を撒く)

悩みがあるんなら、僕で良ければ相談にのるよ。

…。

僕に話しづらい事なら、君の担任の智子先生に話せばいい。力になってくれるはずだ。

(消え入りそうな小さな声で) ありがとう…『や』います。

さ、もうこんな時間だ。君もお家に帰りなさい。

尚史先生。：私、もう耐えられません。(シクシク

と泣きはじめる)

どうしたんだい、いつたい。

(しゃがみこんで泣き続ける)

弱ったな。(途方にくれる)お父さんのお仕事が、上

桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史

桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史 桜 尚史

手くいってないそうだね。ひょっとしてその事に気を病んで学校に来ないのなら、心配しなくていい。智子先生が、今日理事長に君の授業料の免除申請を申し込んであるから。

尚史先生。私、尚史先生のことか…

智子が隠れていた草むらから姿を現す。

智子 あら、尚史さんにミス桜じゃない。どうしたの、こんなところで。

尚史 あ、いや、桜さんが、花の水やりを手伝ってくれていたんだ。

智子 あら、そうなの。ミス桜もういいわ。」」苦勞様。

あとは私と、私のファインセの尚史さんの一人でやりますから、あなたはもう帰つて。（ジヨウロを乱暴に奪い取る）

桜

（

尚史

おい、智子さん。そんなきつい言い方しなくてもいいじゃないか。

智子 桜

きつい言い方なんてしてないわよ。ねえミス桜。

泣きながら走り去る。

あらあの子つたら帰っちゃったわ。何か気に触る事でも言つたかしら。ねえ尚史さん。私あの子を傷つける事言つちゃったかな。

尚史

自分で気づいてるでしょ。相手はまだ高校生だよ。大人げないよ。

智子

もう高校生よ。尚史さんのことを誘惑しようとしてたわ。ウソ泣きまでして。何が目的なのかしら。

尚史

あれはウソ泣きだったのか。

智子

そうよ。女同士なら直ぐに見やぶれるわ。まるで女狐ね。尚史さんしつかりしなきや。あんなのに騙されちゃだめよ。

尚史

分かったよ。（腕時計に目をやり）おっと、もう5時

だ。僕はこれから芦屋の美術サロンに行つてマダム達相手にレッスンをしなければならない。

智子 尚史 こんな時間から。

智子 尚史 そうなんだ。僕の個展の計画についての打ち合わせもある。今日は遅くなるよ。

智子 尚史 分かったわ。気をつけてね。

智子 尚史 ありがとう。

尚史退場。入れ替わりに中原理事長が歩いて来る。

中原 智子 中原 智子 あ、理事長。

榎本先生。どうしました。

中原 智子 中原 智子 先ほどお願いした、ミス桜の学費免除申請の件なんですが、今さっきミス桜と話したところ、免除申請はしないと言つてるのです。

中原 智子 中原 智子 それは本当かね。親御さんも同意してるので。

智子

中原

中原

智子

中原

智子

中原

智子

中原

智子

中原

智子

中原

中原

智子

中原

(中原理事長を見送った後。花壇の脇に建つマリア像に向かい、胸の前で両手を合わせる)聖母マリア

勿論です。

しかし、それでは桜君は退学処分になってしまいます。
もう三か月も学費を納めておらんからね。

仕方ありませんわ。本人の意思ですから。

うーん、やむおえんな。わかった。申請書の提出は
見送ろう。榎本先生。次桜さんに会つたら、申請書

に同意するよう説得してみてくれ。卒業まで後一年
だから彼女の将来のためにもそうした方がいい。
わかりました。理事長。

それでは「きげんよう。榎本先生。

「きげんよう。中原理事長。

中原理事長退場

様。嘘をついてしまいました。どうか罪深い子羊をお許し下さい。

智子退場。中原理事長が戻つてくる。

中原 いかんいかん。手帳を忘れてしました。

中原理事長。

スミレ 中原理事長。

スミレ君かね。

はい。先日は私達の演劇の練習に参加してくださいつてありがとうございました。

中原 どういたしまして。レ・ミゼラブルでは、君はグラントールの役を演るんだったね。学園祭本番を楽しみにしているよ。

スミレ ありがとうございます。新聞部の方も、学園祭特集号の記事を書かなきやいけないから、大変だわ。

中原 そうだね。スミレ君は演劇部の他に新聞部と映像製

作部に所属しているから大変だろ。

スミレ
ええ、でも私将来はマスコミ関係の仕事に就きたい
ので、やり甲斐を感じておりますわ。

中原
そうか、君ならできるよ。ぜひ頑張りたまえ。（軽
くスミレの肩を叩く）それじゃ、僕は理事長室に忘
れ物を取り戻すところなのでね。失礼するよ。ス
ミレ君は暗くなる前に帰りたまえ。

スミレ
はい。「きげんよう中原先生。

中原
「きげんようミススミレ。気をつけて帰るんだよ。

中原理事長退場 入れ替わりに銀行監査役で秘書の森田
女史が歩いてくる。

森田
こんにちわ。

スミレ
こんにちわ。（そのまま通り過ぎようとする）

森田
あなた、今中原理事長に肩を叩かれていたでしょ。

痛くなかった。

スミレ

ちょっと痛かつたな。中原先生は若い頃フエンシングの国体選手だったから、力が強いんです。でも悪気があつて叩いたんじゃありません。私の事を励ますためにしたんです。

森田

スミレ

いけないわ。ミス：

森田

スミレ

ミスマスミレ。私見ていましたけど、あれは立派な暴力よ。

スミレ

さっきのがですか。確かに痛かつたけど、暴力なんかじゃないわ。あなたいったい誰なんですか。見たことないけど、この学園の先生ですか。

森田

先生じゃありません。この学園のメインバンクの東神銀行から派遣されて、秘書の仕事をしてるの。森田よ、始めまして。（名刺を差し出す）

スミレ

始めまして。

森田 ミスマミレ、さつきの暴力事件について話し合いましょう。

スミレ 暴力事件だなんて大袈裟です。

森田 ちつとも大袈裟じゃないわ。この画像を見て、私が撮ったのよ。アイテルホンの画像を見せる。中原先生あきらかにスミレさんを力を込めて叩いているわ。こうやって見れば暴力を振るつていてるよう見えます、それがどうだつていうんですか。銀行監査員のあなたがなぜ私なんかに構うんですか。

スミレ 許せないのよ。暴力を振るう男が、画像だけじゃなくて動画も撮ったのよ。これを御覧なさい。

森田 凄い。こんな小さな画面に映像が映つて。これ、なんなんですか。

森田 この学園の馬鹿な校長先生が、須磨離宮ホテルでシリアル系アメリカ人のスティーブドボチヨンズっていう青年から買つたって言つてたわ。馬鹿校長は空い

てる時間に本が読めちゃうからアイテルホンなんてセンスの無い名前で呼んでるけど、私だったらそうね、須磨離宮ホテルで買ったからスマホテと呼ぶ事にしましょう。

スミレ

このスマホテの映像、どうするんですか。

森田

どうもしないわ。ただ場合によつては公表も検討しますよう。

スミレ

そんな。私なんとも思つてません。

森田

だめよ。そんな弱気じや。将来マスクで働きたいんでしょ。

スミレ

どうしてそれを。

森田

監査役ですもの、知つて当然よ。
私は…どうしていいか分からないわ。

スミレ

何もしなくていいわ。私に任せて。（スミレの肩を

森田

叩く）「おげんよう。

スミレ（マリア像の前でひれがおもて）聖母マリア様。私は
もうすれぱいこのじょりか。

暗転

激安イアン画廊（祇園枝道） 0120-000-0000の看板
真暗なアトソン、尚史がカンバスに絵を描いていぬ。

イアンネムタイゼ三世 もうすぐできあがりだな、上手く描
けてるじゃないか。いかにもフェルメールが描きそ
うな宗教画だ。即あたりチュー万はくだらんな。
尚史 鑑定士が見れば贋作だと直ぐに見破ぬでしょう。ムツ
シコ、イアンネムタイゼ三世。

イアン三 いや、君は腕がいい、よほど田利やのこじ鑑定士

でなければ、これが贋作だとはよもや思うまい。特にフェルメールは贋作が多く出回っている。真贋を見極めるために学術会議で見本として示された作品ですら、後に贋作であつた事が判明したという逸話がある。つまり居並ぶアカデミー会員は、贋作を手本にして贋作の真贋を鑑定していたわけさ。

尚史 鑑定書はどうするんですか。

イアン3 余計な心配はしなくともよい。鑑定書の贋作を書く。私はその道のプロだ。

尚史 世の中何も信じられない。鑑定書の鑑定書が必要だ。イアン3 無駄だ。鑑定書の鑑定書も偽物を作る。所詮何も信じてはならん。とどのつまり、信じられるのは自分自信だけだ。私もまだ描きかけの大作があるので。

もう一つのカンバスの前に立ち、ベールを外す

尚史

「…これは、

イアン3 言葉もでまい。

尚史

「ゴッホのヒマワリだ。いったいいくらで売るつもりですか。

イアン3

「…こいつは売らない。自分のために描いたんだ。ゴッホは生前これと同じく、花瓶に生けたヒマワリを七枚描いたと言われている。常に太陽に向って咲くヒマワリに芸術家を志す自分自信を投影していたのかもしれない。謎と苦難に満ちた人物だけに、ゴッホにとっての太陽がなんだったのか、彼の唯一の理解者である実弟のテオですら推し量る事ができなかつただろうが、私にとつての太陽は、間違いなくフィンセントファンゴッホそのものである。

尚史

「ゴッホがよほどお好きなんですね。

イアン3

「…私は芸術の道を歩ませたのも、挫折させたのもゴッホだ。私が今持てる全ての力を注いで描いたんだ。

この絵を見て感動しない者がいるとすれば、そいつは人間じゃない。血も涙もない獣だ。（ひと呼吸置いて）時にムッシュ尚史、貴殿嘘をついてるな、未来のワイフに対して。

尚史 芦屋のカルチャーサロンでマダム達に絵画のレッスンを行つてゐると言つてます

イアン3 面白い。世界的絵画の贋作を描いて、闇ルートで成金に売りつけてる、とは口が裂けても言えないものな。だが、これは皮肉ではなく、贋作絵師には贋作絵師の才能がいる。お前は神に選ばれたのだ。私が出会つた絵師の中で一番腕がたつ。

尚史 喜んで良いものかどうか。

イアン3 勿論だ。自分の望みとは違つていても、人から必要とされる職に就くのは幸せな事だよ。（懐から札束を取り出す）セザンヌの分の報酬だ。

尚史 ありがとうございます。（受け取った札束をいぶか

しげに見つめてから鞄にしまう)

イアン3 安心しろ。偽札じゃない。

暗転

東神銀行

掛川

西井専務。セレブタリティ女学園への特別貸し付けの稟議は通過したのですか。

西井

いや、融資判定会議で否決された。

掛川

やはり、ミスアイロニーが横やりを入れてきたのですか。

西井
掛川

ま、そういうことだ。

しかし何とかして追加融資しなければ、私も西井専務もセレブタリティ女学園から多額の賄賂を受けてます。背任罪でお縛ですよ。（手首を合わせて手

錠をかけられるジエスチャーをする)

西井

掛川君はまだいい。金だけだろう。私は我が娘より年下の愛人まで斡旋してもらつた。

それはまずいですよ専務。いくつの子なんですか。

掛川 西井

：十七歳だ。

十七ですって。まだ子供じゃないですか。児童わいせつ罪に問われますよ。そんなに可愛いかったんですか、その女の子。

いや…男の子なんだ。

そうでしたか。失礼しました。

ともかく、我々の保身のために是が非でも融資はとうさなければならんのだ。激甘融資の西井の異名にかけても。

西井 掛川 西井

森田女史がお茶を持つて入室して来る

森田

西井

森田

掛川

西井

お茶をお持ちしました。

おー、気が利くね。森田さん。今日はセレブタリティ
文学園への出向はしなくていいのかい。

水曜日は午後から出向の契約になつてます。

だったら家で寝てればいいのに。仕事熱心だな。

あまり無理はするなよ。銀行からの監査役というと、
出向先から何かと煙たがられる事もあるかと思うが、
もう暫くの辛抱だ。来月からは私が引き受ける。学
園側に理事長のポストを開けてもらひように言つて
ある。

では今の中原理事長はどうするんですか。

副理事長に降格だ。私が出向するんだから当然その
へらいの便宜を図つてもうわねばな。

森田
西井

一ヶ月後セレブタリティゼミナールの開塾式当日、関係者控え室

掛川

いよいよ塾を開く時がおとずれましたね。感慨深いものを感じますよ。

西井

そうかい。僕は何とも思わんがね。

掛川

融資の方。上手くいって良かつたですね。さすがは

西井

激甘融資の西井さん。

いや実はね、森田女史に稟議書を書き換えてもらつて融資判定会議に再提出したら、すんなり可決されたんだよ。全くあの女は相当なやり手だよ。だが、腑に落ちん。ワシの稟議書が通らざりに、なぜあの女の書き換えた稟議書が通つちまつたんだ。中身はそんなんに違わなかつたぞ。

結果オーライというやつです。あまり深く考えない方がいいですよ。

掛川

西井

それもそうだな。これでワシも君も首の皮がつながつて、めでたしめでたしといったところだ。

掛川

あ、校長先生のスピーチが始まります。

エントランスホールでの記念式典の声だけが聞こえてくる

智子

(司会進行役を務める)これより、セレブタリティゼミナール初代塾長、植池芽作より「挨拶させていただきます。

植池

えー、本日はお忙しい中、セレブタリティゼミナールの開塾式にお集まりいただき誠にありがとうございます。今日こうして晴れの日を迎える事が出来たのも、ひとえに皆様方の「」尽力のおかげとたまわっております。本日はささやかではございますが、酒宴の席を設けさせていただきました。どうかお時間の許す限り、「」歓談くださいませ。それでは皆さん、

ゆうべりしてこつてねー（ステージを下りて、西井と掛川のいる控え室に入つてく）

植池
これはこれは東神銀行の西井専務と掛川課長、わざわざ足をお運びいただきまして恐縮です。エントラントホールでお酒とオードブルでも召し上がってくださいな。

西井
お気遣いなく、こちのほうが落ち着くのでね。こじで結構です。校長。この度はおめでとうござります。

植池
ありがとうございます。これというのも、東神銀行さんにお融資して頂いたおかげです。さすがは激甘融資の西井さん。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

校長おめでとうございます。応援しますよ。

ありがとうございます。掛川課長。あなたには何かヒelp力くだらじまして。

植池
掛川

中原 芋作君、ちょっと来てくれるか。

(西井、掛川に対して)ちょっと失礼しますよ。

(中原に対して)おい、何の用だ。接客中だぞ、客人に対して失礼じゃないか。

困った事が起きたぞ。ラッパー講師のネムネムと、

セクシー講師の浅野さんが来ないんだ。

なんだって、そりや困るよ。二人には大金をはたいて他から引き抜いてきたんだ。

何、ラッパー講師のネムネムを引き抜いたのか。ネムネムといえば、自身の生涯をモデルにした映画「冥土参る」メイドマイルが大ヒット中の超大物じゃないか。よく来てくれたな。

智子がステージから控え室に戻つてくる。

智子 まったく、なんで私が女子アナウンサーみたいな事

をしなくちゃなんないのよ。プロを雇つてください。
仕方がないだろ。予算がないんだから。

中原 植池
中原 植池
ラッパー講師のネムネムからビデオレターが届いた
ぞ。

何、ネムネムからビデオレターだと。早速再生しろ。

ターンテーブルの前で、男が歌う動画が流れる。

ネムネム ヨー、ヨー、俺はネムネム。ラップのビートに合
わせて講義をするぜ、ヨーにこの憤りを抗議するぜ。
ベイベー俺はネムネム。セレブタリティイゼミナール
の塾長さんよ。耳の穴をかっぽじって目ん玉かっぴ
らいて聞け。話が違うじゃないか。俺はジャマイカ
生まれ、じゃないがヒップポップ育ちでもない。
この間の話では年間契約三千三百万だったのに今じゃ
たつたの一千万まで金額を下げて来やがって、

俺の財布は干上がつて。ぴえーんって感じでマジ草。ワロタ。ユーには常識ないからからもうじきだしてやるぜ立派な葬式。新開地のナンシーちゃんにあげる錢があるのなら、ちょっとはオレっちの報酬アゲアゲしろよ。シクヨロだぜベイベー。俺はネムネムラップのビートにあわせて講義をするぜ。ユーにこの憤りを抗議するぜ。俺は行かないぜ。契約破棄だ。要約すると、ようやく終了。ヨー、即帰ろう。

映像が切れる。

中原

じついうことだ。セレブタリティゼミナールの看板講師になるはずのネムネムが来ないとなると、これは大変なことだぞ。芋作君、どうしてネムネムの契約金を勝手に下げたんだ。

いや、その、コストを下げようと思つて。

植池

中原

まさか、その金を新開地のナンシーちゃんに貰いだんじゃないだろうな。

植池

いや、それは違う…と思う。

中原
智子

違うと思うってどりいうことだ。田が泳いでるぞ。
いがみ合ってる場合じゃないわ。もうすぐネムネム
によるプレス向けの特別ラップエキシビションを催
す予定よ。

中原
植池

中止にするしかないだろう。

諦めるのは早い。ネムネム講師がダメでも、まだ我々
には隠し球がある。セクシー講師の浅野さんだ。ワ
ンレンボディコンスタイルで、塾生を悩殺しながら
英語の授業をおこなうんだ。そろそろ到着する頃な
んだが、まだみえてないようだな。

智子が電話を持って来る。

智子

植池

浅野

植池

セクシー講師の浅野さんからお電話です。
早く電話をよこせ。（智子から受話器を奪い取る）
浅野ちゃん。どうしたの、皆待ってるよ。
この工口親父め。昨日の懇親会でお前私のお尻触つ
ただろ。

あ、いや、その。それは酔っていて覚えてないが、
きっと何かの間違えだろう。たまたま手が触れただ
けで：ほら、今流行りの痴漢冤罪ってやつですよ。
嘘つけ。お前酒飲めねえからって、オレンジジュー
ス頼んでたじやないか。それにおんどれ、私のパン
ツ覗いてただろ。初めの内は手鏡でチラ見してい
たけど、そのうちだんだん大胆になってきておんど
れが自慢していた、空いてる時間に本が読めちゃう
アイテルホンってやつで盗撮しだしやがって。
君、言うに事かいてなんて無礼な事を。名譽棄損で
訴えてやるぞ。

植池

中原
植池

芋作君本当の事を言つてくれ。そんな事をしたのか。
おい、お前は俺を疑うのか。盗撮だぞ、立派な犯罪
じゃないか。確かに昨日は悪ノリで浅野さんに対し
て不快な思いをさせてしまったかも知れない。それ
は素直に非を認めて浅野さんに謝罪をしよう。しか
盗撮となると、話は別だ。さすがの俺もやつて良い
こととわるい事の区別はつく。

信じていいのか。

当たり前だ。男芋作断じて嘘はつかん。この目を
見ろ。この目が嘘をついてるように見えるか。
：そのアイテルフオンを見せて見ろ。

今は持つてない。

嘘をつくな。

嘘じやない。何処かに置き忘れたんだ。
都合が良すぎるじやないか。どこに隠してあるんだ。

中原
植池

一人揉み合つて争う。手鏡が床に落ちる

西井 手鏡が落ちたぞ。

中原 ちゃんと持つてるじゃないか。（植池のポケットからアイテルホンを奪う）

植池 あ、よせ。

（智子にアイテルホンを投げる）

（受け取ったアイテルホンの動画を見て絶句する）本
当だわ。セクシー講師を盗撮して。さいてー。
おい、人の携帯を勝手に覗くな。プライバシーの侵
害だぞ。

中原 んな戯言を言うんだ。バカヤロー。（植池を殴る）
おい、二人ともよさないか。（掛川、中原、智子、
西井 植池 で二人の喧嘩を止める）

浅野 もうあなたたち馬鹿とは付き合いきれないわ。契約

金いらないんで、私辞めます。さようなら(電話が切れる)

西井

おい、あんたらが内ゲバしているせいで、セクシー講師も辞めちまつたじゃないか。いつたいどうするんだ。無理矢理融資している私の身にもなってくれ。そうですよ。もし、塾の件が失敗して債権回収不能になつたら、私達は終わりだ。

掛川

会場がざわついている。

智子

会場でラッパー講師とセクシー講師のエキシビション授業は、まだ始まらないのかつて騒いでいるわ。こうなつたらやむおえまい。中原、お前今からステージに上がつてラッパー講師の代わりをやれ。

植池

お前の指図は受けん。この工口校長。

中原

頼むよ、セレブタリティ女学園を守るためだと思つ

て、ステージでラップ歌ってくれ。この通り。(両

手を合わせておがむ(

私からもお願ひします。

私達の進退にも関わっているんです。

理事長

中原

私四十歳ですよ。都々逸なら若い頃新町の芸妓相手に歌つたり語つたりしましたが、ラップなんて願つ

たり叶つたりしないし、全く踏んだり蹴つたり。
マジ勘弁つてかマジ堪忍。

植池

お前、上手く韻を踏んでるじゃないか。その調子でやるんだ。

中原

どうなつても知らんよ(ステージに向かう)

ステージで中原がラップもどきで歌いだす。その

声だけが聞こえてくる。

中原

ヨ！ ヨー あ、それ。オレッちはMC中原。今夜
バズつてインフルエンサー。お前らグズつてインフ
ルエンザー。ワンチャンあるかもハイリスクト。
虫歯予防に、はいシユミテクト。

ヨーワンワンツーツースリー、スリーフォーフォー
ガンガンズンズングイグイ上昇

夢に描いたショータイム
デカイ理想は夢じゃない
スタート前の深呼吸
夢に向つてフルパワー

(今井メロ作 メロラップより引用)

観客達が騒然となり、罵声が飛び交う。

観客 偽物じゃないか。本物のネムネムを出せ。

観客

ラップになつて無いじゃないか。

観客

セクシー浅野講師はなぜ出てこないんだ。

中原が逃げる様にステージから控え室に戻つてくる。

植池

おい、暴動がおきるぞ。

中原

もう駄目だ。お終いだ。歴史あるセレブタリティ学園も僕達の代で廃校になるんだ。

片隅で西井と掛川がコソコソと話しあつてる。

西井

えらい事になつちまつたな。そもそも世間知らずの三代目お坊ちゃん従兄弟同士が取り仕切つてる学園に融資した俺が馬鹿だった。

西井専務逃げましょ。

逃げたつて無駄だ。官憲の手からは逃れられない。

掛川

西井

掛川

でも、このままだと特別背任罪で逮捕は免れませんよ。

西井 いや、まだ最終手段がある。ダニー会社を使った迂回融資だ。

掛川 西井 証欺じゃないですか。それに直ぐに露見しますよ。しかし、やるしかない。どのみち俺達は捕まる。だが迂回融資で上手く誤魔化し続ければ、来年の決済までは時間が稼げる。その間に我々の分の金を着服して姿をくらませるんだ。

背後に森田女史が立っている。

西井 森田 森田君。君、いつからいたんだ。

掛川 ずっといました。

西井 まさか、今の話。盗み聞きしてたんじゃないだろうな。

森田

ずっと聞いてたわ。酷い人達ね。今すぐ銀行を辞めていただくわ。

西井

なんだと。俺は専務だぞ。お前、JMCクビにしてやる。だが、今の話を誰にも言わないと約束するなら、このまま出向役として残してやってもいい。

森田

お気遣いは結構。そんな事をしても無駄です。あなた達の悪事は既に皆さん周知の事実です。

西井

どういうことだ。

森田

エントランスホールを御覧なさい。

西井と掛川、控え室から出てエントランスホールを見る。

西井

あ、スクリーンに俺達が映つている。

掛川

今までの会話が全部聞かれていたのか。なぜ。

森田

(アイテルホンを取り出す)これよ。

西井

あ、アイテルホン。それを使って動画を撮つてたな。

森田

なんて卑劣な。

あなたに言われたくないわ。（控え室の前方にある壇上で皆に向って語り始める）

西井専務には今すぐ辞めていただきます。それからセレブタリティゼミナール三宮校は、今日をもつて廃校とし、既に担保物件となっている土地建物の所有権は東神銀行のものとします。

廃校つて、まだ今日開校したばかりなのに。

おだまり！話はまだ終わってません。セレブタリティ文学園は今後ディストピア文学園と改名し、私が新理事長を務めます。

君に何の権限があつてそんな事を言うんだ。

そうだ。お前はいったい何者だ。

私は東神銀行副頭取兼筆頭専務森田鉄子です。

副頭取兼筆頭専務だつて。お前まさか。

なぜだか知りませんが、皆さん陰で私の事を、ミス

アイロニーと呼んでいるようですね……なんないことだ。

西井

森田

中原

森田

中原

森田

中原

森田

は？

ですから、あなたクビです。同じ事何度も言わせな

いで。

どういう事だ。訳を聞かせろ。

とぼけるつもりですね。よろしい。一ヶ月前の午後、あなた生徒に暴力を振るいましたね。

何を馬鹿な。誰がそんな根も葉も無いことを言つてるんですか。

ミスマミレ。いらっしゃい。

はい。（壇上に上がる）

スミレ君じゃないか。

森田
スミレ

中原

中原

森田

中原

森田

中原

森田

中原

森田

ミスマミレ。怖がる事はありません。正直に告発しない。あなたはこの男に暴力を振るわれましたね。
…はい。

スミレ

嘘だ。私は断じて暴力など振るつてない。

中原

森田 大声を出さないで下さい。ミスマミレが怖がってる
じゃありませんか。

中原

お前は黙つてろ。スミレ君。私の顔を良く見て答えて
くれ。いつたいいつ何処で私が君に暴力を振るつ
たつて言うんだ。

スミレ

一ヶ月前に、花壇のある所です。

中原

あ…あれは、君の事を励ますつもりで、軽く肩を叩

いただけで

森田 叩いたんですね。はい、皆さん聞きましたか。この
男は自らの罪を認めておきながらまったく自己を反
省しておりません。聖職者にあるまじき危険な思想
の持ち主です。

中原

いや、叩いたというのは、そういう事じゃないんだ。
ほんの少し手が触れた程度なんだ。

森田

ミススミレは恐怖におののきながら私に救いを求めて來たのですよ。

中原
森田
いや、大袈裟な。スミレ君。君はこの女帝に何か言い含められてるのだろう。僕の方を見る。
よして下さい。震えてるのがあなたには分からない

のですか。掛川！（大声で呼ぶ）

掛川
(壇上に上がる)

この男を連れて行きなさい。

掛川が中原の腕を引っ張り壇上から引きずり下ろす。

中原

（振り向いてスミレの方を向く）スミレ君。先生が悪かった。すまなかつた。

悲しげな声で話しかけたが、スミレは振り向かなかつた。

暗転

第二部 ディストピア

理事長室 これまで置いてあつた甲冑や鎧兜、虎の剥製などが生徒（紅葉、スミレ）の手によつて外にだされる。

森田
掛川

「ここにあるガラクタはみんな処分いたしましょう。中には歴史上重要な物もありますよ。ほら、これなんか、校長が、壇ノ浦の合戦で行方不明になつた宝剣だと言つてましたよ。去年校長が関門海峡にスキュー・バダイビングに行つた時に見つけて、自ら引き上げた代物ですよ。」
いらないわ。

こちらの古文書はどうします。

なんなのそれ。

掛川 森田

掛川 森田

掛川 森田

魏志倭人伝です。写本ではなく、原本だと校長が言つてました。中国旅行に行つた時に、露天商から買った物です。解読すれば邪馬台国の正確な位置が分かるんじゃないですかね。

へー、そうなの。要らないわ。興味ないし。

じゃあ、こちらのタイタニック号の乗船券はどうです。植池校長のお爺さんが、出港当日サウスハムptonでジャックという青年にポーカーで負けて、3枚あつたうちの2枚を巻き上げられたんです。一枚じゃ家族旅行はできないってんで結局乗らなかつたらしいんです。

うるさいわね。要らないって言つてるでしょ。

それでは、やはりミスアイロニー、あなたが欲しているのは、次期頭取の椅子でどうか。

森田

掛川 森田

智子 森田

智子 森田

智子 森田

よくわかつてゐるじゃないお前。さすがは落ち目の西井専務を見限つて、途中から私の方へ情報を垂れ流してきたコウモリ野郎なだけはある。

お褒めにあずかり光栄です。

でも私には、次期頭取なんかよりもっと手に入れたいものがあるのよ。掛川。あなたには私の元でもう一働きしてもらうわ。（智子に向つて）ミス智子。お呼びでしょうか、ミスアイロニー。

馬鹿校長は今何処にいるのかしら。

植池校長でしたら、中原理事長と一緒に…

理事長は私です。

失礼しました。前理事長と一緒に校内に建つ先々代の建てた洋館に立て籠もつて、プロパガンダ校内放送を流し続けています。

洋館、植池がマイクに向かい喋り続けている。

植池

セレブタリティ女学園の良識ある全校生徒の諸君。君たちは騙されている。新理事長のミスアイロニーこと悪の女帝は、歴史と伝統を無視して我々に断りもなくディストピア女学園等といふざけた校名に改名し、君たちの行動、思想を不當に監視しようとしている。

彼女の脳裏にあるのは、学園を支配するという権力と、東神銀行で頭取になるという野心のみだ。今、我々レジスタンスは窮地に立たされているが、決して諦めてはいけない。必ずやミスアイロニーを倒して再びセレブタリティ女学園に平和と秩序を取り戻すべく、日夜密かに潜伏し、オルグを開いている。

セレブタリティ女学園の良識ある全校生徒の諸君。

我々が再び不死鳥の「」とく栄光を取り戻すまで、どうかサボタージュをもって新理事長森田とそのテ力の掛川による森掛派に反抗の意思を表明してほしい。これで、昼休みの放送を終わることとする。掃除当番の生徒は速やかに掃除道具を片付けるよう。以上。次の放送は本日下校時間におこなう。心して拝聴せよ。

(ヘッドフォンを外し、マイクの前からはなれる)
なかなかさまになってきたじやないか。

ディスクジョッキーになつた気分だ。

しかし、こんな事を続けていても奪われた学園を取り戻す事はできん。何か良い方法はないだろうか。お宝を売つて金に変えよう。理事長室は宝の山だ。今「」は全部捨てられてるだろう。元々「」だからな。

中原 植池 中原 植池 中原 植池

植池

冗談じゃないよ。タイタニック号の乗船券があつただろう。俺達のおじいちゃんが、家族を連れてイギリス旅行に行つた時、サウスハンプトンでジャックというチンピラにポーカーで負けて乗船券を2枚巻き上げられたんだ。もし、勝つていればそのまま豪華客船で新大陸に行けたのに、と思うとおじいちゃんもとことんついていなかつたなあ。

中原

芋作君。あの船は大西洋で氷山にぶつかって没なんだよ。

植池

嘘！マジで。

本当に知らなかつたの。もし乗船していたら僕達は生まれてなかつたかもしれないね。ともかく理事長室にあるのはガラクタばかりで、一文の価値もない。だがこいつは値打ちもんだぞ。（一冊の日記帳を机の上に置く）

植池

ただの日記帳じゃないか。

中原

日記帳自体には価値がない。中に書かれてある事が事実だとすると、僕達は大金を手に入れる事ができる。すなわちその金で、学園を買い戻せるんだ。

植池

いつたい何が書いてあるのか分からんが、そんなに上手くいくのか。お前にしてはやけに現実味を欠いたやり方じゃないか。

中原

仕方がないだろ。後二日以内に学校から立ち退かなければ、強制的にこの洋館も取り壊されてしまうんだ。

植池

まさに、溺れる者は藁へもすがる。つてやつだな。まさか芋作君にたしなめられるとはな。どうするんだ。伸るのか反るのか。

中原

伸るしかないだろう。早くその日記帳を読ませろ。

その前に、芋作君は親父さんからイギリス旅行に行つたとき、旅先でトラという名前の女の子に会つた事を聞いた事がないか。

植池

なにぶんまだ親父が五歳の時だからな。赤毛の可愛らしい女の子がいたと言つてた記憶があるんだが、その子の事かな。

その子に違ひない。日記を書いたのはその子だ。（日記を差し出す）

トニア（ミス桜の声）

一九一四年四月十日 外交官のパパの出張で英國を訪れた。極東のジャポンという国から来た植池家族と、サウスハンプトンの港で会った。二人の背の低い夫婦は、一匹の猿を連れていた。猿は、私の胸をしきりに触りたがつた。よく見ると、それは猿ではなく人間の子供だった。名前を大作と言う。この猿と私が遠い親戚だとママンが教えてくれた時、涙が出るほど自分の出生の忌まわしさ

を呪つた。

植池

大作というのは俺の親父だ。

一九一四年四月一五日 パリに戻った今朝、植池
家族が乗船したタイタニック号が大西洋で沈没し
たと、ル・蒙ド誌の朝刊で知った。あの植池
家族がどうか無事でありますようにと、ノートル
ダムの鐘に祈りを捧げた。

一九一四年四月二八日 どういう経緯かわからな
いけれど、あの植池家族はタイタニック号には乗
らなかつたという事が分かつた。植池家族から、
無事帰国したという知らせのメールをママンが見
せてくれた。神戸という街の風景画が、何枚か同
封されていた。ノスタルジックな街並みが、どこ
となくパリに似て美しかつた。

一九一四年五月一日 悲しみで胸が引き裂かれそうな知らせを聞いた。外交官のパパの仕事の関係で、パパの母国であるジャポンに早急に帰国しなければならなくなつた。あの風景画の街で、植池家の広大な土地の一角に洋館を建てて、そこで暮らすのだという。私は、ジャポンという未開の土地に行くことよりも、世界一の都パリを去る事よりも、もう二度とマルクに会えなくなるのが何よりも悲しかつた。

一九一四年五月二一日 パリを明日の朝発つ前夜、私はいつものようにパパとマンが寝静まつた頃を見計らつて、そつと裏窓から抜け出して深夜のシャンゼリゼ通りを歩いた。巡回中のポリスマンに見咎められたけど、私の事を娼婦だと思つたらしくニタニタと下卑た目を向けてくるだけであつ

た。セーヌ川沿いに建つ煉瓦造りのアパルトマン、メゾンドボヌールの三階にその部屋はあった。ノックをすると、こんな時間にも関わらずマルクは起きてカンバスに向って「テッサン」をしていた。

以下、トラを赤毛のカツラを付けた桜、マルクを尚史が演じる

「トラ、いつたいこんな時間にどうしたんだ、君は明日の朝ジャポンに行くんじゃないのか」

私は何も言わずマルクの胸に飛び込んだ。

「マルク、私行かない。あんなチビばかりの国行きたくない」

「君のお父さんの国じゃないか。そんな事言つちやいけないよ」

「行きたくない。行きたくないよ。マルクと別れたくない」

「僕も別れは辛い」

「マルク、私を連れて逃げて」

「それは出来ないよ」

「だったらここで殺して」私は家から持ち出した短刀をマルクに渡した。

「トラ、そんな事出来ないよ。まるでジャポンの悲劇舞台じやないか。ソネザキナントカつていうマルクは、優しく私の頭を撫で、静かに続けた。

「トラ、君はまだ子供だ。いつときの熱にうかされて人生を台無しにしてはいけない。ジャポンに行けば、きっと楽しい生活が待っている。僕も自分の絵が売れて世に認められるようになつたら、必ず君を迎えに行くよ。それまで待っていてほしい」

「本当、それ本当」

「ああ、本当だ」

「私待ってるから。ずっと、ずっと待ってるから、きっとだよ。おじいちゃんになつても迎えに来てね。手紙をだすわ。絶対だよ」

「約束するよ」

「私、：ジャポンにいく」

「これは君へのスーアーニアだ」マルクが一枚の絵画を渡してくれた。

「これ、：私だわ。私の事を描いてくれたのね」

「あと、瞳を描いて完成だ。トラのオリエンタルな漆黒の瞳の色は、パリ中の絵具屋を探しても、中々手に入らなくてね。だから、自分で作つたんだ、色々な黒を混ぜてやつと完成したんだ。さ、そこに座つて、今君の瞳を描いてあげるよ」マルクがカンバス越しに私をじっと見つめる。この眼

差しだ。心の深淵まで覗き込んできそうなこの青年の眼差しを私は愛したんだ。マルク・シャガール。

筆先が紙面に触れるその刹那、ノックの音が二人の静寂を破つた。私は一瞬身を硬くした。

ドアの隙間からマルクが応対する。

「どなたですか」

「夜分に失礼します。パトロール中の警察官ですが、この部屋に売春婦が来ませんでしたか」

「来てませんが」

「少し部屋の中を拝見してもかまいませんか」

「どうぞ」

ボリスマンが部屋へ入つてくる寸前に、私は裏窓から外に出て非常階段を降りた。ガス燈の光が石畳を艶っぽく照らしだすシャンゼリゼ通りを、脇にマルクの未完成のカンバスを抱えて家路へと歩

いた。

植池

(日記を閉じる) 思い出したぞ。赤毛のトラだ。この洋館に住んでいたんだ。親父に聞いたことがある。一度お風呂に入っているところを覗いてたのがばれて、ビンタされたんだって。

中原
植池

その事も、日記の最後の方に書いてあるよ。で、この日記が一獲千金をワシリーニもたらしてくれるんだ。

中原

シャガールの描いた絵だよ。未発表の物が見つかれば時価4億円はする。日記に書いてある事が真実なら、トラは日本に来る時に例の絵を持ってくるんだ。だが、何処にあるのかが分からない。この洋館の中を隅々まで探したが見当らない。

どこあるのか日記に書いてないのか。

植池

メゾンドボヌールに飾った、とある。この敷地内にあるようなんだ。なぜなら毎日のようにそこに出かけて、絵を眺めていたと日記にある。

植池

その、メゾンドなんちやりつて場所はいつたいどこなんだ。お前は日記を全部読んだんだろう。

中原

それが分からぬから困つてゐんぢやないか。それにトラの消息も不明だ。日記は一九二四年八月で途絶えている。

植池

つまり、その場所を探しだしてシャガールの絵を奪えばいいんだな。

中原

そういう事だ。ちなみに、これがトラ写真だ。家族写真がこの洋館に残つていた。

植池

(写真をじっと見つめる)分かった。立ち退きまで後一日だったな。それまでにメゾンドボヌールって隠れ家を探しだしてみせるよ。

紅葉が入室して来る。

紅葉
植池

紅葉

失礼いたします。「ミニ箱を交換させていただきます。
掃除当番だね。」¹⁾苦労さん。
(机の上のトライの写真を見つめる)あ、私この子知つ
てるわ。

中原

ミス紅葉。君、トライを知つてゐるのか。

ええ、ミスマーラン「リーよ。何度か見たことがある
の。

見たことがあるつていittたいどういうことだ。

部活で帰りが遅くなつた時、校内を歩いてゐるの。
誰かを探しているようで、とつても淋しげな表情
をして。私以外にも見たことがあるつていう生徒は
いるわ。誰からともなく、その子の事をミスマラン
「リーって呼ぶようになつたの。

つまり、君が見たつて言つてるのは、幽霊なんだね。

紅葉

そ、う、よ。透き通るよう、真っ白な肌、燃えるような
鮮やかな赤毛。あれは人間じゃないわ。きっと幽靈
よ。

中原

幽靈じゃ仕方がない。まあ、生きていたとしても、
もう九十歳を超えて、いるが。

植池

いや、幽靈でも何でも構わないじゃないか。その、
ミスマランコリーって奴を捕まえればメゾンドボヌー
ルの場所がわかるかもしれない。早速今晚捕獲に行つ
てみよう。

そんなに上手く行くものかな。

伸むか反るかって言つただろ。後二日しかないんだ。

ワシらには伸る以外の選択肢はない。(キヤビネット)

トからライフル銃を取り出す)

芋作君。そんな物騒な物だしてどうするんだ。

決まってるだろ。ミスマランコリーに襲われたら、
この、父親の形見のジェームズパー・ディーで応戦

中原
植池

中原
植池

するのだ。（銃を構える姿勢をとる）

中原
芋作君相手は幽霊だぞ。もう死んでる相手に銃で撃つ
ても意味ないんじゃないかな。

植池
まあみてろって。あれば何かの役に立つさ。それ、
お前も持つて行け。念の為だ。キャビネットからも
う一丁ライフルを取り出し中原に渡す。

暗転

校庭の花壇

尚史が花壇に水をやっているところへ、ミス桜が訪れる。

桜
尚史先生、手伝うわ。

尚史
ありがとう、桜君。君、学校には来てるようだけ

ど、ちゃんと授業には出席してるのである。

授業、出でないわ。

だめじゃないか。ちゃんと授業にでなきや、卒業出来ないよ。

もうどうだつていいんです。

投げやりになつちゃいけない。君は今子供から大人になりつつある、だから非常に不安定な心境になりやすいんだ。感情が揺れ動くのは当然で、刹那的な衝動に駆られるのもそのせいさ。

尚史先生。いつから保健体育の先生になつたの。

君のためを思つて言つてるんだよ。

説教する人の常套句ね。今日は尚史先生に聞いてほしい事があつて来たの。いつたいたいなんだね。

桜 尚 史

桜 尚 史

一人、ベンチに腰掛ける。

新理事長のことよ。

新理事長って、ミスアイロニーって呼ばれてる人かい。
彼女がどうしたの。

私の：母なんです。

それは本当かい。そんな偶然があるとは。

偶然じゃないわ。きっと私がこの学校にいることを
知つていて理事長のポストに就いたのよ。まだあ
の事を根に持つてるんだわ。の人、蛇みたいに執
念深い人なんだから。

複雑な事情がありそうだね。

私が小学一年生の時、クリスマスを間近に控えた夜
だったわ。イルミネーションに照らされた三宮のアーケードを母と二人で歩いていたの。塾の帰りだった
と思う。おもちゃ屋のショーウィンドに、素敵なフランス人形の縫いぐるみが飾つてあつたの。私は母

桜 尚史

桜 尚史

桜 尚史

に買ってほしいとねだつた。でも母は買ってくれないどころか、説教を始めたの。いい、桜、あなたは東大を目指すのよ。そして私のように銀行員にならなきやいけないの。女が自分一人の力で生きて行くためには、あらゆる事を犠牲にしなきやだめよ。クリスマスも、フランス人形も、今のあなたには必要ない。今あなたに必要なのは、計算ドリルと単語カードよ。分かったら帰つて今日塾で習つた事をおさらいしましよう。私は何も言えず、ただ母の言葉に従うしかなかつた。

数日後、クリスマスイブに、母と私と、離婚した父の三人でレストランで食事をしたの。父は母とは正反対で、放埒な人だった。一緒に住んでいた頃は時々母に暴力を振るう事もあつたようだけど、私には優しかつた。なぜこの二人が結婚したのか、子供の私には疑問だった。

以下、声のみの芝居

父 クリスマスイブまで勉強させる事ないだろう。
母(ミスアイロニー) 人の教育方針に口出しあしないで。あなたには関係ないでしよう。

俺の子供もあるんだ。桜が可哀想だよ。

女作つて家を放つたらかして出て行つたくせに、娘の前でだけ、理解あるお父さんのように振る舞うのはやめて。

俺は子煩惱なんだ。ただお前とは一緒に暮らせなかつただけだ。息苦しいんだ。いつもギスギスしていく。勉強、出世、野心って、お前はそれで満足かもしけないが桜にまでそんな過酷な人生を歩ませたくない

母 父 母 父 母 父 母

い。少しくらい楽しみがあつてもいいじゃないか。
あなたは甘いのよ。全部桜の将来のためよ。
桜の現在の幸せを考えろよ。

そんな事が言いたくて今日呼び出したの。
桜を取りたい。

：何言つてるのよ。あの馬鹿女の連れ子三人も引き
取つて、その上桜を引き取るですって。子供は
物じやないのよ。桜の気持ちを考えてよ。
考えたさ。家内も賛成してくれてる。家にいる子
と分け隔てなく育てる。
できっこないわ。さ、桜帰るわよ。

席を立とつとある。

また、帰つて勉強の続きかい。

つるさいわね。ほつといてちょうどだい。

母 父

父 桜 母 桜 父 母 父

さ、桜。パパの家に帰ろう。今日はみんなでクリスマスパーティーだ。桜の分のケーキも用意してある。お姉さん達も待ってる。みんな桜の事が大好きなんだ。

騙されちゃいけません桜。帰るのよ。こんな男の家に行つたら不幸になるだけよ。これまでたくさんのお女を不幸にしてきたんだから。

(ラッピングされた箱を桜に渡す)これはサンタからのプレゼントだ。良い子にしていたから、一足早く届いたんだね。

卑怯よ。その手で、あの馬鹿女も騙したんだね。
昔の私の事も。
開けてもいい。

どうぞ。

フランス人形だわ。私が欲しかったやつ。どうしてわかったの。

父

桜の事なら何でも知ってるよ。お前は俺の娘だからね。

嬉しい(フランス人形を抱きしめて鳴咽する)

こんな事で涙を流して喜ぶなんて、これまで相当苦労したんだろうね。

桜。そんなもの返して早く私と帰りましょう。明日は塾の模試があるので。寝過ごしたら大変だわ。

桜。パパのお家において。

ママ、：私パパのお家に行く。

：何言つてるの、ママと帰るのよ(桜の腕をとる)

痛い(手を振りほどく)

桜が嫌がってるじゃないか。

：分かったわ。好きにすれば。

ママ怒ってるの。

怒ってなんかないわよ。

ママ、ごめんね。

父 母

⋮。

この人に何を言つても無駄だよ桜。生まれてからこれまで泣いた事がないんだ。銀行ではミスアイロ二一つで渾名される。鉄と皮肉でできた心臓。所詮、人の気持ちも、自分自身の気持ちもわからないんだ。さあ、行こう桜。

照明がつく。

桜 尚史

それで、君はお父さんと暮らすようになったんだね。うん。それ以来母とは会ってないわ。でも、今朝の新理事長就任式で、十年ぶりに母を見たの。何も変わつてなかつたわ。冷酷な野心の塊のような表情をしていたわ。⋮ねえ尚史先生。私どうすればいいの。何も心配いらないよ。明日からまた学校に来て授業を受ければいい。

授業に戻れるの。

勿論だよ。智子先生が学費の免除申請をだしてある。
桜君は成績優秀だからきっと審査はパスするよ。

智子先生って尚史先生のファイアンセなんでしょう。
まあね。

運命は残酷にできているわ。尚史先生。幸せになつてね。

向かい合う二人に今年初めての落ち葉が舞い散る

尚史 ありがとう。
桜 誰か来るわ。

植池と中原が歩いて来る。一人はライフル銃を肩に担いでいる。

尚史

校長先生。中原前理事長。お揃いでキジ撃ちにでも出かけるんですか。

いや、幽靈撃ちだ。

幽靈撃ち。ゴーストバスターズですか。

ミスマラン「リー」って言ってね。生徒達の間では有名なんだ。君知ってるかい。

知らないわ。

桜池

もしミスマラン「リー」を見かけたら、直ぐに知らせてくれ。四億円の絵画の在処を知っている唯一の生き証人だからね。

幽靈を生き証人って言うんですかね。

尚史

まあいいさ。言う事を聞かなきや、このジェームズ・ペーティーが火を吹くだけさ。それじゃわれらは先を急ぐのでな。

植池

植池と中原退場

尚史

桜君。僕もこれから芦屋のサロンで講師の仕事があるんだ。失礼するよ。君も遅くならないように気をつけて帰るんだよ。

桜

ありがとうございます。尚史先生。個展の方はいつ頃の予定なんですか。

尚史

ああ、それならもう少し先になるんだ。色々と面倒な手続き等がってね。

桜
尚史

そう、私楽しみにしてますから。頑張って下さいね。

ありがとう。

尚史退場

桜

明日からまた、授業に出よう。少し緊張するけど勇気をださなきや。

智子

あなたもう手遅れよ。退学が決定したの。

あ、智子先生。いつからいたの。

あなたが泥棒猫みたいに、私のダーリンを籠絡して
た頃からずつと見てたわ。

籠絡なんてしてません。私は尚史先生に相談にのつ
てもらってただけです。

とぼけるんじゃないわよ。色田まで使って、しなだ
れかかってたじゃないの。

そんな事してません。智子先生はどうして私を目の
敵にするの。どうして私が退学なの。授業料の免除
申請をだしてくれたんでしょう。

あら「ごめんなさい。申請書を出すのを忘れちゃった
わ。（申請書をヒラヒラと振つてみせる）

酷いわ。

自業自得じゃない。あなたが自ら学校に来なくなつ
たんじゃない。でも、チャンスをあげるわ。今後二
度と私のダーリンに近づかないって約束してくれた

桜 智子 桜 智子 桜 智子 桜 智子

桜

智子

ら申請書を提出してあげる。期限は今日の午後五時までだから、後三分あるわ。

卑怯よ。大人のくせして子供相手に恥ずかしいとは思わないんですか。

なんだってするわ。私はダーリンを愛してるのよ。誰にどう思われたって構うもんですか。尚史さんは近い将来立派な画家になるのよ。もう少ししたら個展だって開くんだから。私は尚史さんの夢の実現のために全てを捧げてるのよ。あんたみたいな若気の一時の熱に浮かされたような青春の一コマじみた時代錯誤の少女漫画風ラブストーリーとは覚悟が違うんだから。

あはははは。

何が可笑しいのよ。

覚悟ですって。ちゃんとやら可笑しいわ。もう少ししたら個展を開くなんて、あんたそれ本気で信じて

桜 智子

るわけ。あんなの男が見栄を張るためにつぐ嘘に決まってるじゃない。そんなありふれた常套句も見抜けないなんてとんだお嬢様。あんたみたいな世間知らずは、その辺に掃いて捨てるほどいる馬鹿なイケメン野郎とでも付き合ってればいいのよ。

(桜を平手打ちする) 知ってるわよ。そんな事。あなたなんかに言われなくたって女だつたら誰だつて気づくわよ。

よくも殴ったわね。尚史先生は私のものよ。おまえなんかに渡すもんですか。この馬鹿女。許さないわ。

桜

智子

桜、走つて立ち去る。

智子

どうしよう。私、大変な事をしてしまったわ。人に手をだしてしまった。それも私の生徒に。どうして、どうしてこんな事を。(手に握ったままの申請書を

見る)まだ間に合つかもしれない。(校舎に向つて駆けだす)

チャペルの鐘が鳴る。

スピーカー 全校生徒の皆さん。五時になりました。校内に残っている人は、速やかに下校しましょう。(螢の光が流れる)

暗転

植池 五時をまわったぞ。ミスマランコーヒーはまだ現れないな。

中原 本当にいるのかな。生徒達が噂してゐるって言つてもよくある学校的伝説的なものじやないかな。
でも、実在に見たつて言う生徒が結構いるから、噂

とはいえ、信憑性はあるよ。

芋作君。僕は今晚趣味の予定があるんだけど。。

おお、そうか、悪かつたな。読書以外楽しみの無い無趣味の中原理事長が何か没頭できる趣味を見つけたって、将棋か盆栽でも始めたのか。

いや、ラップだよ。

なにラップを、これは以外だな。

先日ステージで演ったのが刺激になつてね。毎晩クラブで若い連中相手にバトルやつてるのさ。眞面目が服着て歩いているような性格のお前がラップとはな以外だよ。

ギャップ萌え、って言うやつさ。

なんだか使う言葉も垢抜けてきたな。

あ、あそこに青いドレスを着た女がいる。
本當だ。赤いロングヘアー、間違いない。
ミスマランコリード。一発で仕留めてみせるぜ。

中原
植池

中原
植池

中原
植池

中原
植池

中原
植池

二人、銃を担いで追いかける

暗転

激安イアン画廊(黄屋支店) 0120-000-0000

イアン3 新たなオーダーだ。お前、これ描けるか。

尚志 ハーですね。大丈夫です。

イアン3 納期は明日の正午までだ。

尚志 わかりました。大急ぎで描きます。

尚志が絵筆を走らせるのを、イアン3はじっと見つめる

イアン3 筆先にいつもの滑らかさがない。お前疲れている

な。

尚史 学園でゴタゴタがありまして。

イアン3 噂には聞いている。植池一族が、銀行から来た女に追い出されたんだってな。なんて名前だったかな。確かミスアイロニーとか言つたな。

尚史 よくご存知で。

イアン3 週刊誌にのつていたんだ。それにしてもミスアイロニーとは、まったく人を食つた名前だ。

尚史 ムツシユイアンネムタイゼ三世。

イアン3 なんだ。

尚史 個展はいつ開かせてもらえるんですか。

イアン3 まだ先の話だ。もっとオリジナル作品を作らなければならぬ。

尚史 もう、二十作品描きました。

イアン3 それは知つている。…しかし、いや、よそう。

尚史 何ですか。

イアン3 はつきり言つてもいいか。

尚史 ええ。

イアン3 どれも、みなぱつとしないんだ。つまり、オリジナリティがない。何処かで見たことのある西洋画を思いおかさずにはいられないんだ。

尚史 僕には才能がないと。

イアン3 そうは言つてない。ただ、向き不向きで言つと、君は明らかに贋作絵師向きだ。

尚史 虐辱にしか聞こえません。

イアン3 その気持ちはよく分かるよ。なぜなら私自身帝国美大を首席で卒業した後、かの大森画伯の門下で天才と周りから賞賛されながら努力を重ねたが一向に芽が出ず。最後には大森大家からお前は贋作絵師に向いていると言われたのだからな。

尚史 そうだったんですか。

イアン3 私がお前と違うのは、贋作絵師としてプライドを

持つてていることだ。私の作品が国立西洋美術館に2枚展示されている。現代の化学識別判定を用いても絶対見破る事はできない。なぜなら私の作品は本物よりもクオリティが高いからだ。

尚史

：

イアン③ お前私と本格的に組まんか。お前は天才だ。私がこれまで会つてきた魔作家の中で一番腕がいい。後はお前がこの仕事に誇りを持てるかだな。

尚史

：

イアン③ そういうふうと思つた。ま、考えておいてくれ。

暗転

尚史と智子の家

尚史 ただいま、智子さん。どうしたんだい、泣いてるじゃ

ないか。

智子 尚史さん。私、どうしよう。ミス桜を叩いてしまったの。

尚史 どうしてそんな事になつたんだい。何か訳があるんだろう。

智子 あの子、尚史さんの事を籠絡しようとしてたんじゃないわ。今日、尚史さんとミス桜が花壇で話してるので見ていて分かつたの。ミス桜は本気で尚史さんの事を愛してるんだわ。

尚史 そんな馬鹿な。桜君は少し大人びているが、まだ高校生だ。あれぐらいの年の子によくある傾向だ。大人の男に憧れるのは、思春期の淡い思い出として直ぐに溶けて無くなるもんだよ。

智子 尚史さん、あなた何も分かつてないわ。

新理事長室 ベルサイユ宮殿のように豪奢な室内に様変わりしている。ミスアイロニーが真紅のドレスを着て椅子に座っている。

アイロニー 掛川。お茶。

掛川 はい、ただ今。ミスアイロニーのお気に入りのダーリンで、わざわざ。

アイロニー (カップに口をつける) ぬるいー(紅茶を掛川の顔面にぶっかける)

掛川 アチチチ。申し訳ありません。

アイロニー 違うだろーーのハゲ。何度言つたらわかるのよ。アフタヌーンティーもろくに入れられないなんて、秘書失格よ。私は激甘融資が売りの西井とは違うの

よ。(スミレの方を向いて)ミススミレ。

スミレ　　はい、ミスアイロニー。御手前に。

アイロニー　ミス智子はまだ戻らないの。

スミレ　　はい、スミレ、ミスアイロニーに申しあげます。

ミス智子先生は家に在宅しております。

アイロニー　遅いわ。まさか植池派に寝返つたんじゃないでしょうね。

スミレ　　スミレ、ミスアイロニーに申しあげます。私が行つて確かめて来ます。

アイロニー　大丈夫ミススミレ。植池派には、あなたに暴力を振るつたドメステイックバイオレンサー中原がいるのよ。

スミレ　　…なるべく会わないようにします。

アイロニー　じゃあお願ひね。くれぐれも無理はしないでね。

入口で人の気配がする

アイロニー 誰。

客人 イアン画廊のイアン三世です。『依頼の作品をお持ちいたしました。

アイロニー 何も頼んでませんけど。

掛川 校長が以前に頼んでたんじゃないですか。

掛川 イアン画廊とかいましたね。

イアン3 いつもお引き立て頂きありがとうございます。

今日は校長はおられませんか。

掛川 あいにく校長はここを出て行つたよ。

イアン3 困つたな。こちらにお届けするように承つていた

んですが。

アイロニー イアン：なんって言いましたつけ。

イアン3 イアンネムタイゼ三世です。

アイロニー いったい何処の国の人なの。その絵、支払はどうなつてんの。

イアン3 手付金のみ頂いております。

アイロニー ミレーって言ったわね。あいにくですが私絵画には興味がないの。

イアン3 それでは投資にいかがですか。未発表作品で鑑定書付きですので持っていて損はありませんよ。

アイロニー 掛川！

掛川 悪い話ではないと思います。

アイロニー 鑑定はこちりで依頼するわ。本物なら貰つてあ

げましょ。

イアン3 ありがとうございます(絵画を壁に掛けれる)

暗転

花壇 尚史と智子

尚史 ともかく桜君を見つけて謝ろう。

智子 もう学校にはいないと思うわ。

尚史 でも家にもずっと帰ってないんだろ。ひょつとした
らまだ校内の何処かにいるかもしねり。
誰か来るわ。ミス桜かしら。

智子 智子先生。それに尚史先生も。

スミレ ミススミレじゃないの。どうしたの。

智子 智子先生を探すのを口実にして森掛派から抜け出し
て来たんです。私、もうあそこには戻りません。

智子 でも、ミススミレはミスアイロニーの親衛隊隊長で
しょ。どうしてそんな気になつたの。

スミレ 私…中原先生に謝りたくて。私が間違つてたわ。

智子 ミススミレ、あなたを尊敬するわ。私も見習わなく
ちゃ。

スミレ 智子先生も間違いをおかしたのですか。

智子 そうよ。

スミレ 先生で大人の人でも間違える事つてあるんですか。

智子

もちろんあるわよ。ただ、大人になると、過ちに気づきにくくなったり、認めなくなったりするの。
また誰か来る。

尚史

何あの人、怪しいわ。

智子

スミレ 本当、警察呼んだ方がいいかもしねないわ。

スミレ

イアン3 やあ、尚史君。今晚わ。

尚史

イアンネムタイゼ三世。いったいどうしたんですか。

イアン3

商売だよ。昨日のミレーの未発表作品を新理事長

に売ってきたのさ。

尚史

売れたんですか。あの人は絵については門外漢ですよ。

イアン3

転売用にと勧めてきた。さすが銀行員、話にのつてきたり。鑑定士を依頼すると言っていたから、後は鑑定結果しだいだが大丈夫。君が描いたんだから。見破られる事はまずないだろう。

智子

尚史さんが描いたの。

尚史 いや、違うんだ。えーと…

スミレ あそこに誰かいるわ。

尚史 本當だ。青いドレスと赤い髪の毛。

智子 ミスマランコリーだわ。生徒達が言つた通り。誰かを探しているようだわ。

尚史 こつちに来る。

赤毛を付けた春菜がミスマランコリーを演じる。尚史
をじっと見つめる。

メランコリー やつと会えたわ。ずっと待っていたのよ。マ
ルク。

イアン ううひやひの君の事をマルクといつ男と勘違いしてい
るじこ。

メランコリー (うひうひとおもはるす)

智子 何処へ行くのかしら。
イアン3 ともかくついて行ってみよう。

尚史 智子 スミレ イアン3、メランコリーの後について歩く。メランコリーが花壇の脇にあるマリア像を動かす。

尚史 階段があるや。地下室に通じる階段だ。

暗転

地下室

尚史 ずいぶんと歩いたな。ここは何処だ。

智子 真暗で何も見えない。少し広い場所に出たみたいね。

明かりがつく。メゾンドボヌールと書いてある。部屋の壁沿いに、植池と中原先生が縄で縛りつけられて座っている。

尚史 あ、校長先生。中原理事長も。いったいどうしたんですか。

植池 その化け物にやられたんだ。

中原 た、助けてくれ。殺される。

メランコリー 静かにしろ(奥からジエームズパーディー銃を担いでやってくる。植池と中原に向けて一発撃つ。植池と中原の後ろの壁に穴が空く。二人悲鳴をあげる)

智子 (ミスマランコリーをじっと見つめて)あなた。ミス 桜じゃないの。じつしてこんな事するの。

メランコリー 私はトラよ。桜でも、ミスナントカつてい う名前でもないわ。

植池

取り憑かれているんだ。昔フランスから親の都合で日本にやって来てここに住み着いた、トライという女の子に。

メランゴリー 余計な事喋るんじゃない（銃口を校長に向ける）どたまかち割られたいのか。

植池 す…すいません。撃たないで。

階段を誰かが下りてくる足音がする

メランゴリー（銃口を向ける）誰だ。

紅葉

智子
紅葉 私です。

ミス紅葉じゃないの。どうしてここに。

私、今日掃除当番で、マリア像を拭こうとしたら像の位置がズれていて地下に通じる階段があったから下りてきたの。皆こそ何でこんなところにいるの。（周りを見渡し）ミス桜。学校に戻ってきたのね。

嬉しい。あつ分かったわ。これは新作演劇の練習ね。
ミス桜は、さだめしオフィーリアってところかし
ら。ハムレットならお手のものよ。（大袈裟な身振
でセリフを語る）生きるべきか。死ぬべきか。それ
が問題だ。

メランゴリー うるさい。べらべら喋るなぶつ殺すぞ。（銃
を天井に向けて撃つ。天井から土埃がバラバラと舞
い落ちて来る）

（驚いて腰を抜かす）

メランゴリー てめえら死にたくないければ大人しく壁沿いに
並んでじっとしてろ。

智子 スミレ 紅葉 イアン3 壁沿いに整列する。ミ
スメランゴリーは、尚史の腕を掴む。

メランゴリー マルク、あなたはその椅子に座つて。待つて

てね。（奥から大きなカンバスを取り出してくる）

イアン3（絵を見て驚愕する）シャガール。マルクシャガールだ。

メランコリーうるさい。てめえ怪しいぞ、何者だ。

イアン3 イアンネムタイゼ3世です。

メランコリー（銃を撃つ）訳のわからぬえ名前つけんじゃねえ。

イアン3（頭を押さえてかがみ込む。イアンの後ろの壁に穴が空く）

メランコリー さあ、マルク続きをお願ひ。後は瞳を塗るだけよ。私のオリエンタルな漆黒は、あなたにしか描けないのよ。

あの日のアパルトマンの一室と全く同じように、メランコリーが尚史に向かい合って座る。

尚史 ミスマランコリー…いや、ミストラ。すまないが僕
はマルクじゃないんだ。君は勘違いしているんだ。

メランコリー（椅子の横に置いたジエームズパーティー銃
に手をかける）

尚史 わ…分かった。描くよ。描くから待ってくれ。

メランコリー（銃を下ろす）

イアン3 尚史早まるな。マルクシャガールの未発表作品だ。

保存状態が良くないが、修復すれば三億…いや五億
円は下らんぞ。君が一筆加えただけで価値が二束三
文に落ちてしまう。

メランコリー イアン3を睨みつける。

イアン3 う…撃たないでくれ。尚史、いやマルクシャガーゲ
ル君。続きを描いてあげなさい。

尚史 （カンバスに向うが、腕がガクガク震えて中々描け
ない）

舞台の照明が尚史とメランゴワーダけを照りし出す。二人の動きが止まり、あの日の音声が流れる。

「トラ、君はまだ子供だ。いつときの熱に浮かされて人生を台無しにしちゃいけない。ジャポンに行けば、きっと楽しい生活が待っている。僕も自分の絵が売れて世間に認められるようになつたら、必ず君を迎えて行くよ。それまで待つていてほしい」

「本当、それ本当」

「ああ、本当だ」

「私待ってるから。ずっと、ずっと待ってるから、きっとだよ。おじいちゃんになつても迎えにきてね。手紙をだすわ。絶対だよ」

「約束するよ」

「私、…ジャポンに行くわ」

現実の芝居に戻るが、スポットライトは尚史とメランゴ

リーだけを照射。

メランゴリー 私、…ずっと待ってたんだよ。いつ迎えに来て来てくれるんだろうって。この暗い地下室で、皆からガイジンとか合の子とか指をさされても、ずっとあなたが来るのを信じてたんだよ。お願いよ。マルク、絵を完成させて。

尚史 （カンバスを前にじっと被写体のミスメランゴリーを凝視する）

メランゴリー（尚史の姿をじっと見つめるが、はっと何かを感じる）違う。違うわ。あなたマルクじゃない。私を騙したのね。

尚史 だからさつきからずっと違うって書いてるじゃないか。

メランゴリー よくも騙したな。許せない。（ジェームズパー ディーの銃口を向ける）

紅葉 誰か来るわ。

地道を一歩一歩歩いて来る足跡

メランコリー 誰だ(銃口を向ける)

年老いた男が現れる

男 私だ。

メランコリー …マルク、マルクなのね。

マルク そうだよ、トラ。迎えに来たんだよ。手紙を送つてくれたね。ありがとう。(カンバスを見て)おお、懐かしい、私の若い頃の絵じゃないか。確かまだ描き終えてなかつたな。どれどれ。トラ、そこへ座りなさい。

絵筆をとつてカンバスと向き合う。あの日と全く同じ姿、瞳を描き、仕上げにサインをする。

マルク さあできたよ。（カンバスをトライに見せる）

トライ 私、幸せ。これで天国へ行けるわ。

マルク 私もこれから愛しのベラが待つ天国へ行くんだよ。

さあおいで。（トライの手をとる）

二人、共に地下道を通りて退出

イアン 3 消えたぞ。きっと成仏したんだろう。

植池 おい、縄をほどいてくれ。

皆で植池と中原の縄を解く

桜 1111は何処（地下道を通りて戻つて来る）

紅葉 ミス桜。

スミレ ミスマランコワーコの魂が抜けたんだわ。

三人で抱き合つ。

桜

皆どうしたの。（自分の青いドレスを見て）あ、分かつたわ。新作演劇の練習ね。私はさだめしオフィーリアってところかしら。でもやっぱりお姫様の役は私なんかより紅葉、あなたの方がはまり役よ。（紅葉を指指して、まるで宝塚の男役のような大振りな演技で）オフィーリア、尼寺へ行け！生きるべき死ぬべきか、それが問題だ！

智子

ミス桜。素晴らしい演技だわ。

紅葉

やっぱり私達演劇部には桜部長が必要だわ。

スミレ

桜部長、戻つて来て下さい。

桜

私、戻つてもいいの。

紅葉とスミレ（声を揃えて）お願ひします。

桜 桜 ありがとう。皆ありがとうございます。

智子 ミス桜。「めんなさい。私、あなたに酷い事しちゃつたわ。

智子先生。私こそ「めんなさい。私、尚史先生の事好きなんです。でも、智子先生の事も大好き。どうしていいか分からぬの。

智子 私にも経験があるわ。私達先生と生徒の間だけれどかけがえのない友達よ。難しい問題だけれど二人でのりこえていきましょう。

（二人抱き合つ）

桜 桜 智子先生。私、また学校に来ていい。

それが…本当に「めんなさい。私、急いで授業料免除申請書を持って理事長室に行つたんだけど、間に

合わなかつたの。あの掛川つていうミスマライロニー
の腰巾着に突っぱねられて。（懐から申請書をだす）
…そなうなんだ（悲しそうに呟く）

桜
イアン3 ちょっと見せてみなさい。（申請書を受け取る）

桜 「この人誰。怪しいわ。

智子 よく知らない人よ。

イアン3 （専用の道具箱から修正液とペンを取り出し申請

書を偽装する）これで大丈夫。明日提出しなさい。

智子 締め切り日の日付が明日になつてゐる。ありがとう。

えーと…

イアン3 イアンネムタイゼ三世です。

智子 ありがとうございます。イアンネムタイゼ三世さん。

地下室の奥の部屋を覗きに行つていた植池と中原が戻つて来る。

植池

奥の部屋に子供の白骨死体が横たわっている。
なんですって。

智子

中原

智子

トラの死体だ。何らかの理由で「」で亡くなつて誰
にも発見されなかつたんだろう。
可哀想な子ね。親の都合でパリから見知らぬ国にやつ
て来てずっと一人でマルクが来るのを待つっていたの
ね。ちゃんと用つてあげなきや。

紅葉が急に倒れる。

植池 おい、どうしたミス紅葉。具合でも悪いのか。

桜が倒れる。

イアン おい、みんな早くこいから出るんだ。低酸素状態
だ。ミスマランコローもきっと酸素欠乏症で亡くなつ

たんだ。

意識を失った二人を抱えて全員部屋の奥の階段を登る

植池

「こゝは、我々が元いた洋館じゃないか。この真下に地下室があつたとは。長年気付かなかつた。防空壕だ。そういうえば以前聞いたことがある。先々

代が、大戦が始まる随分以前から作つてあつたんだ。この辺りは市街地から離れているため空襲を避けられたから、皆防空壕の存在を忘れてしまつたんだ。

桜と紅葉が意識を取り戻す。

地響きが起つる

植池

なんの音だ。

智子

ブルドーザーだわ、こっちに来る。あ、ミスアイロ

ニーがいる。

ミスアイロニー（真紅のドレスを着ている）約束の期限よ。

あなた方には、出て行つてもうりつわ。嫌と言つなら
強制執行いたします。

校長

お前こそ出でていけ。ここは俺達の学園だぞ。

ミスアイロニー 致し方ありません。ネムネム前へ。

ラップ講師のネムネム登場

ネムネム（ラップを歌いだす）

ヨー、ヨー、俺はネムネム。ラップのビートにのせて講義するぜ。今お前らに抗議するぜ。ツイヤ、今すぐ出て行けここから植池。

この学園に居座る執念そろそろ観念

それでも居るならお前ら無理ゲー

ラスボス出る前にさつさつと立ち退け。

中原

バトルをけしかけてきやがつたな。受けてたつぜ。
(前に躍り出る)

中原

ヨー、ヨー、ヨーは俺に任せろ。
ネムネムごときは直ぐにヘロヘロ。
マイクパフオーマンスは既にサドンデス
突然現れたお前らに愕然。
しかし百年続いたこの女学園
敵前逃亡は断然出来ねえ。

ネムネム

年寄りの冷水これぞ向う見ず

ライムがレベチでバースがバースト

強制執行速攻実行

居座る根性今度で最後

最高ですか。最高でーす

中原

最後通告過激な放言

慎め暴言守れ居住権

女学園の鐘の声

諸行無常の響あり

ネムネム！上を見ろ。

チャペルの鐘が鳴り響くなか、洋館のバルコニーに桜
が青いドレスを翻して立つ。

桜

紅葉 桜 紅葉

ミスアイロニー良く聞け。たとえ最後の一人になろうとも、セレブタリティの友は、学園の自由と平等と博愛を守るために、この地を一步も退きはしないぞ。アンジヨルラス、僕もここに残るよ。

おお、同志グラントール。君は死を恐れないのか。
恐れるものか。

スミレ 僕もだ。

桜 クールフェラック、君も共に戦ってくれるのか。

スミレ もちろんさ。

桜 賴もしき我が同志。共に歌おう。

三人、赤い旗を振りながら歌つ

戦う者の歌が聞こえるか

鼓動があのドラムと響き合えば

新たに熱い命が始まる

明日が来た時そうさ明日が

〔レ・ミゼラブル 民衆の歌〕

智子

三人共立派よ。歴史に残る最高の舞台よ。こんな素

敵なレ・ミゼラブルを見たことがないわ。

理事長室のバルコニーに真紅のドレスを翻してミスアイロニーが立つ

アイロニー 私の娘、桜。やつと会えたわね。今からでも遅くはないわ。馬鹿な真似はよしなさい。黙つて母の元へ帰つてらっしゃい。

桜 嫌よ。あんたの所になんか行くものか。私は血も涙もない獣の娘ではないわ。

アイロニー 親に向つてよくもそんな酷い事言つたわね。本当に戻る気はないの。今ならまだ間に合つわよ。ぐぢいわ。戻らないって行つてるでしょ。

桜 智子 (独り言) 思い出したわ。ミスアイロニーが本当に手に入れたいも、それはミス桜のことだつたんだわ。

アイロニー :仕方がないわ、掛川！
掛川 はい。

アイロニー　あの洋館を取り壊してしまいなさい。

掛川　了解。皆の者かかれ。

桜　敵兵がこちらへ来るわ。グランテール、クールフェラック前へ。

グランテールとクールフェラックが一步前へ出てライフル銃を構える。一糸乱れぬ二人の動きが美しい。

照明が消える

敵兵の怒号、鳴り響く銃声、ブルドーザーの轟音。

ナレーション

関西屈指の高級住宅街、北阪神鈴姫台。豊かな自然と瀟洒な屋敷に囲まれた鈴姫台の丘の上に、まるで住宅街を見晴らかすかの」とく燐然とそびえ建つ白亜の殿堂。鈴

姫台セレブタリティ女学園。この物語では一九八五年まで実在した格式と伝統を重んじる当学園について、当時の資料を元にできるだけ詳細に書き記す事にした。なお、本日御覧いただいた皆様方が、鈴姫台セレブタリティ女学園についてインターネット及びその他あらゆる情報媒体を駆使してその存在を白日の元に曝そうとしても、徒労に帰すであろう事を、予めご忠告申し上げよう。なぜなら、鈴姫台セレブタリティ女学園、そこは神秘のベルに包まれし白亜の殿堂。到底私達一般人にはうかがい知ることなど出来ない秘密の花園なのだから。

暗転

翌日

花壇 奥の方にボロボロになつた洋館が見える。

植池と中原が学校を去ろうとするといひへ、尚史、智子、桜、紅葉、スミレ、イアンらが見送る。皆手や足に包帯を巻いている。

植池 皆見送りありがとうございます。新理事長のミスアイロニーの元でも、しつかり勉強に励むんだよ。

ここに残る事は出来ないんですか。

尚史 植池 会社に例えれば我々二人は役員のようなものだ。乗つ取られた責任をとつて辞めるしかない。が、心配ない、私達二人は教育委員会の計らいで島根県の南佐木村立小中高一貫校に赴任する事ができた。生徒数より教師の方が多い所だが、新転地でも未来ある子供達のために粉骨碎身努力するよ。

どうかお身体に気をつけて下さい。

尚史 尚史 校長 尚史先生、悪い事をしたな。私が美術のクラスを廃

中原 止したばかりに…

中原 どうだね。私達と一緒に島根県南佐木村に来ないか
ね。

尚史 いや、遠慮しておきます。

スミレ あの…中原先生。

中原 どうしたスミレ君。

スミレ …」めんなさい。私のせいです。

中原 何を言つてるんです。君のせいなんかではない。悪いのは僕だ。スミレ君はこれからも自分の信じた道を目指して頑張りなさい。(肩を叩く)うとして、手を引っ込める)

スミレ はい。(笑顔で頷く)

植池 それじゃ出発しようか。

イアン3が突然喋りだす。

イアン3 いつたい幾らいるんです。この学校をニスアイロ
ニーから買い戻すために。

中原 君には関係のないことです。

イアン3 いや、参考までに聞かせて下さい。

中原 まあ、やっと見積もつて4億五千万円といつたところだね。

イアン3 出発を二十分だけ待つてもうれますか。直ぐに戻ります。

イアン3退出

暗転

第3部 真贋のヒマワリ

新理事長室

ミスアイロニー ゴッホのヒマワリねえ。有名な作品だけど、何でここにあるの。

イアン3 この構図のゴッホのヒマワリは、全部で七枚あります。そのうちの一枚は芦屋に住む資産家が戦前に所蔵していました。

ミスアイロニー (掛川の方を向く) 掛川！

掛川 事実ですミスアイロニー。ですがイアンザサード。

そのヒマワリ、俗に言つ芦屋のヒマワリは確か戦災で焼けたはずでは。

イアン3 :という事になつてます。が、事実は違います。

資産家が早くから疎開させてました。オーナーとして相応しい人が現れるまで親族が隠し持つておられたんです。

アイロニー それはおかしいわ。私は絵画なんて興味がないもの。オーナーとして相応しいとは思えない。

イアン3 そこです。なまじ絵画に精通しておられない、が、

あなたは、銀行家だ。それも非常に優れたバンカーだ。

芸術作品を冷静な判断で価値を見定める事ができる。

コレクターの目ではなく、投資家の目で。

アイロニー なるほど、それで、幾らで売ろうとしてるの。

イアン3 4億5千万。

アイロニー 掛川！

掛川 真作であれば、少なくとも五十億円の価値はあるでしょう。

アイロニー 昨日、この男が持つて来たミレーの作品はどう

だったの。

掛川

阪神美術大学の小坂教授に来てもらつて鑑定しても
らいました。94%の確率で真作だと言つてました。

アイロニー 一応信頼はできるようね。ミスターイアン。一

週間待つてもらえるかしら。鑑定してもらつてから
買うかどうか判断するわ。

イアン3 今すぐこの場で、判断願います。この絵を欲しいと頼ってるコレクターが他にもいますので。

アイロニー 掛川！

掛川 特別融資枠から4億5千万円なら一時的に引き出せます。

アイロニー もし贋作だったら。

掛川 この学園を売却すれば穴埋めできます。

アイロニー…ミスターイアン。十秒だけ時間をもらひえるかしら。

イアン3 どうぞ。

ミスアイロニーとイアンネムタイゼ三世が、ヒマワリのカンバスを間に挟んで向かい合って座る。

アイロニー イアン3の目をじっと凝視する。

イアン3 アイロニーの視線から目をそらさない。

十秒間の沈黙

アイロニー やめとくわ。

イアン3 そうですか。

アイロニー バンカーのやる事じゃないわ。これはギャンブルーのやることよ。

イアン3 わかりました。失礼いたしました。（カンバスを抱えて退出する）

暗転

花壇

植池 遅かつたじゃないかイアンザサー。何をしていた

んだ。

イアン3 すみません。

尚史 ハックショーン。

中原 尚史先生。クシャミが酷くなつてますな。医者に診
てもらつたほうがいい。

尚史 はい、そういたし…ハックショーン。

中原 変なクシャミだな。

智子 あなた大丈夫。

尚史 ああ、だ…だいじょ…ハ…ハ…ふーおわまつた。

植池 ともかくもう出発しよう。

中原 皆元気でな。

植池と中原退場。皆で見送る。

智子 さ、ミス桜、ミス紅葉、ミススミレ、暗くなる前に
お家に帰りましょ。

紅葉 はい、智子先生。

スミレ ミスマランコリーに出会わない内に帰ります。

桜 ミスマランコリーって誰？

智子 あら、当の本人は全く知らないのね。

紅葉 何でもないわ。

スミレ 桜部長。帰りましょう。

三人歩いて退場。歩きながら桜が大声でセリフを語る

桜 我ら役者は影法師

紅葉 夏の夜の夢ね。

スミレ 負けないわよ。

三人声を揃えて

皆様方のお目がもし

お気に召さずばただ夢を

見たと思つて
お許しを

「夏の夜の夢より引用」

智子

私達も帰りましょう。

尚史

ハックショーン。智子さん。僕はイアンザサードに話があるから、先に帰つていってもらえるかい。

智子

分かったわ。風邪引いてるんだから、早く帰つて来てね。

尚史

直ぐに帰るよ。

智子退場

イアン3 私に話とはなんだ。
尚史 この間の事ですが。

イアン3 この間とは、

尚史 手を組もうと言う事です。

イアン3 ああ、あの事か。それならもういいんだ。忘れて

くれ。

尚史 いや、やりたいんです。僕はあなたの事を誤解していました。

イアン3 誤解だつて。

尚史 あなたはさつき、ミスアイロニーのところに行つて、あなたが最も大事にしている芦屋のヒマワリ…の贋作を売りに行つてたんでしょう。

イアン3 そんな事はしていない。ただちょっと忘れ物を取りに行つてただけだ。

尚史 そうやって否定するのがあなたの美学なんでしょう。ともかく、僕はあなたからまだ色々と学びたい。あなたが先日言っていた、帝国美大を首席で卒業したにも関わらず恩師の大森画伯から君は贋作絵師に向

いていたと罵られたエピソードにも感銘を受けました。贋作絵師はともかく、名画の修復家なら、僕達二人で誰はかかる事なく堂々と商売していくのでしょう。

イアン3 尚史君、君はやはり自分の作品を書き続けることだ。

尚史 なぜです。僕は贋作絵師に向いていると仰ったじゃないませんか。

イアン3 だが、物事の真贋を見抜く眼力が備わってない。つまり純粹すぎるんだ。先日私が言ったエピソードは全て嘘だ。

尚史 え、嘘だったんですか。

イアン3 そうだ。

尚史 じゃあ、帝国美大を首席で卒業したのも。

イアン3 嘘だ。

尚史 大森画伯から贋作絵師に向いているって、言われた

のも。

イアン3 そもそも大森画伯なんて奴はいない。

尚史 国立西洋美術館にあなたが手がけた膺作が2枚今だに展示されているのも。

イアン3 嘘だ。

尚史 膺作絵師にプライドを持っているというのも。

イアン3 ビジネスで仕方なくやってるだけだ。

尚史 そうでしたか…ハ…ハックショーン。

イアン3 君は、私のようなつまらない男と仕事をするより

自分の才能を信じて絵を書き続けることだな。

尚史 でも、僕には才能がないと…。

イアン3 何度も言わすな、それも嘘だ。私の見たところ、

君には…よそう、私の言う事を信じるな。これは本當だ。

尚史 ハックショーン。僕にできるでしょうか。

イアン3 自分を信じるしかない。選別にペンネームをつけ

てやろう。尚史ではインパクトがないからな。

尚史
ハックショーン。

イアン3 その変なクシャミ何とかならないか。ん…ちょっと待てよ、今何か良い名前が頭をよぎったぞ。ハックショーン・ハックショーン・ハックショーン…バンクシヨー…パンクシー、パンクシーって名前はどうパンクシーですか。

尚史
イアン3 そうだ。響きがいい。それに国籍や年齢などを不明にして謎を持たせるんだ。偉大なアーティストは例外なく謎に満ちている。

尚史 僕、パンクシーって名前で描き続けます。
イアン3 いつか君の贋作を私が手がける日が来るかもしれません。

尚史 ありがとうございました。

イアン3退場

だ。

尚史 パンクシーか、なぜか勇気が湧いてきたぞ。早速
家に帰って絵を描こう。

尚史退場

暗転

ステージの端の電柱の明かりが地面を照らす。そこにズタズタに引き裂かれた芦屋のヒマワリの贋作が捨てられている。

エピローグ

十年前

声のみの芝居

父 クリスマスイブまで勉強させる事ないだろ。

母(ミスアイロニー) 人の教育方針に口出ししないで。あなたには関係ないでしよう。

俺の子供もあるんだ。桜が可哀想だよ。

女作って家を放つたらかして出ていつたくせに、娘の前でだけ理解のあるお父さんのように振る舞うのはやめて。

俺は子煩惱なんだ。ただお前とは子供に対する考えが違うんだ。勉強、出世、野心って、お前はそれで満足かもしれないが、桜にまでそんな過酷な人生を歩ませたくない。少しくらい楽しみがあつてもいいじゃないか。

あなたは甘いのよ。全部桜の将来のためよ。
桜の現在の幸せを考えろよ。

父 母 父

母 父 母 母

そんな事が言いたくて、今日呼び出したの。

桜を引き取りたい。

：何言つてるのよ。あの馬鹿女の連れ子三人も引き取つて、その上桜も引き取るですって。子供は物じゃないのよ。桜の気持ちを考えてよ。

考えたさ。家内も賛成してくれてる。家にいる子と分け隔てなく育てる。

できっこないわ。桜帰るわよ。

席を立とうとする。

また、帰つて勉強の続きかい。

うるさいわね。ほつといてちようだい。

桜、パパの家に帰ろう。今日は皆でクリスマスパーティーだ。桜の分のケーキも用意してある。

お姉さん達も待つてる。みんな桜の事が大好きな

桜

父

桜 父 桜

母

父

母

んだ。

騙されちゃいけません桜。帰るのよ。こんな男の家に言つたら不幸になるだけよ。これまでたくさん女の女を不幸にしてきたんだから。

(ラッピングされた箱を桜に渡す)これはサンタからのプレゼントだ。良い子にしていたから、一足早く届いたんだね。

卑怯者。その手で、あの馬鹿女も騙したんだね。昔の私の事も。：

開けてもいい。

どうぞ。

フランス人形だわ。私が欲しかったやつ。どうして分かつたの。桜の事なら何でも知ってるよ。お前は俺の娘だからね。

嬉しい(フランス人形を抱きしめて嗚咽する)

父 母 桜 母 桜 母 父 桜 母 桜 父 母

こんな事で涙を流して喜ぶなんて、これまで相当苦労したんだろうね。

桜。そんなもの返して早く私と帰りましょう。明日は塾の模試があるので。寝過ぎ¹したら大変だわ。桜。パパのお家において。

ママ。…私、パパのお家に行く。

…何言つてゐるの、ママと帰るのよ(桜の腕をとる)

痛い(手を振りほどく)

桜が嫌がつてゐるじゃないか。

…分かったわ。好きにすれば。

ママ怒つてるの。

怒つてなんかないわよ。

ママ、ごめんね。

…。

この人に何を言つても無駄だよ桜。生まられてからこれまで泣いた事がないんだ。銀行ではミスアイロ

二一って渾名されてる。鉄と皮肉でできた心臓。所詮、人の気持ちも、自分自信の気持ちも分からぬんだ。さあ、行こう桜。

薄暗い照明がつく

ミスアイロニーの家。ミスアイロニーが部屋に入つてくる。壁のスイッチを入れると部屋全体が明るくなる。部屋が手作りのクリスマスの飾りで彩られてある。テーブルには小さな一人分のクリスマスケーキと、桜が欲しがっていたフランス人形。ミスアイロニーが一人でテーブルに座る。

以下ミスアイロニーの妄想として母と娘の会話が会場に流れる。

桜 母

桜 母

桜 母

ママ、これ何。
今日はクリスマスイブよ。一人だけでお祝いしましょ
う。
でも、お勉強はいいの。
今日だけは特別よ。でも、明日からはまたしつかり
頑張りましょうね。

うん。(テーブルの上のプレゼントに手をやる)これ、
私が欲しつて言つてた。フランス人形。
大切にするのよ。
ママありがとう。私、ママの事大好き。

部屋の照明が暗くなり、ミスアイロニーが静かに嗚咽
しだす。暗くなつた部屋でミスアイロニーのむせび泣く
声が会場全体に響き渡る中、幕が閉じる。

ナレーション

夜も更けて来ました。どちら様も、お休みの前に火の元
戸締まりを今一度お確かめの上、『じゆつくりおやすみ下
さい。また明日も、当劇団のお芝居でお楽しみ下さい。

白壁の殿堂 セレブタリティ女学園物語

シーズン一 ヤカラの品格

完

シーズン二へ：続かない。

あなた やっぱり続かんのかい。

注

最後までお読みいただきありがとうございました。お察しの方もおられるかと思いますが、作中のラップは、一部今井メロさんの名作「メロラップ」より引用させていただきました。運営より問題ありとの指摘を受けた際は、自作のラップに編集しなおす予定ですが、小生の「」とき凡才は今井メロさんの才能の足元にも及ばないため、このまま使用させていただく事を切に願います。

の
な
い

見つめ合う二人

智子

ミス雪乃

と家
を

り
校

